

やまぐち 中山間地域振興ライブラリー

～地域を元気にする55の取組～



令和8年(2026年)3月

山口県総合企画部 中山間・地域振興課

	取組地域	取組内容	生活機能の確保	地域産業の振興	交流福祉活動の促進	拠点の整備	地域計画の検討	協働支援事業		活力創出事業
								専門家派遣	元気創出応援	
1	下関市吉田 (貞恒農産加工所)	農産物加工所の運営団体による年間供給体制づくりの取組		○	○	○				○
2	下関市豊北 (一社)たきびれっじ)	仮想空間活用型地域課題解決プラットフォーム創出の取組 デジタル		○	○					○
3	宇部市厚東 (厚東地区コミュニティ推進協議会)	地域みんなで子どもを育む取組 デジタル			○	○				○
4	宇部市小野 (小野地区コミュニティ推進協議会)	夢プラン「ON0プロジェクト」の100%達成に向けた取組 デジタル	○	○	○					○
5	宇部市万倉 (岩戸神楽舞保存顕彰会)	岩戸神楽舞の継承を通じた地域活性化への取組 デジタル		○	○					○
6	宇部市船木 (船木地区コミュニティ推進協議会)	高齢者の見守り体制構築及び地域の魅力発信の取組 デジタル	○		○					○
7	山口市仁保 (仁保自治会)	「未来につなぐ」次期地域づくり計画策定への取組					○	○		
8	山口市仁保 (仁保自治会 仁保となりの柿プロジェクト協議会)	外部人材を活用し地域ぐるみで行うサル被害対策の取組		○	○				○	
9	山口市小鯖 (小鯖地域づくり協議会)	次期地域づくり計画策定に向けた自治会業務の負担感低減の取組					○	○		
10	山口市阿東(嘉年) (阿東嘉年地域づくり協議会)	「嘉年クルミの里づくり」事業の取組		○	○				○	

	取組地域	取組内容		生活機能の確保	地域産業の振興	交流福祉活動の促進	拠点の整備	地域計画の検討	協働支援事業		活力創出事業
									専門家派遣	元気創出応援	
11	山口市阿東 (阿東地福デジタル活用研究会)	デジタル技術を活用し高齢者の日常を豊かにする取組	デジタル			○				○	
12	山口市阿東 (NPO法人ほほえみの郷トイトイ)	移動販売やデジタル技術活用による高齢者支援の取組	デジタル	○		○	○				○
13	山口市阿東 (NPO法人ほほえみの郷トイトイ)	持続可能な地域経営のための新たなビジネスモデル創出の取組	デジタル	○		○	○				○
14	萩市旭(佐々並) (萩往還佐々並どうしんてやろう会)	歴史的町並みを活かした地域の取組			○	○					○
15	萩市旭(佐々並) (ささらブ応援隊)	地域の小学校存続に向けた移住定住促進活動の取組	デジタル			○	○				○
16	萩市須佐(弥富) (弥富むらおこし会)	休校校舎を活用して地域の特産品をPRする取組			○		○				○
17	萩市木間 (木間地区社会福祉協議会)	人口100人の山間の集落が元気になる取組				○	○				○
18	防府市野島 (野島をアートで活性化する会)	SDGsにコミットした野島における海と陸の魅力発見の取組				○				○	
19	防府市野島 (野島白芋段々畑復活を目指す会)	野島白芋プロジェクトの取組			○	○				○	
20	防府市富海 (富海地域活性化協議会)	アプリを活用した情報伝達・共有の仕組みづくりの取組	デジタル	○		○					○

	取組地域	取組内容	生活機能の確保	地域産業の振興	交流福祉活動の促進	拠点の整備	地域計画の検討	協働支援事業		活力創出事業
								専門家派遣	元気創出応援	
21	岩国市柱島 (島づくり推進協議会)	島民共同で行う地域の環境整備の取組	○	○	○					○
22	岩国市柱島 (島づくり推進協議会)	ホームページ開設及びご当地ガチャ等を通じたPR強化の取組 デジタル		○	○					○
23	岩国市北河内 (北河内未来塾)	北河内地域の魅力発信の取組 デジタル			○	○				○
24	岩国市由宇町由西(中倉) (なかくら里山再生プロジェクト)	里山資源を生かした「なかくら里山再生プロジェクト」の取組 デジタル		○	○					○
25	岩国市錦 (NPO法人ほっとにしき)	よさこい踊りとオオサンショウウオで地域を活性化する取組		○	○					○
26	岩国市錦ほか (やましろ地域特産品づくり協議会)	オオサンショウウオクッキーの販路拡大による地域経済活性化の取組		○	○					○
27	岩国市錦 (錦川観光協会)	学生の滞在型研究活動と連携した観光・経済の活性化の取組		○	○					○
28	岩国市錦(須川上沼田) (沼田ふれあい会)	神々の里沼田の地域資源を活かした活力創出の取組 デジタル		○	○					○
29	岩国市美和町下畑 (下畑地区ふるさとづくり推進協議会)	下畑地区特産品販売強化事業の取組		○	○					○
30	岩国市美和町長谷 (長谷みどりの会)	紙漉き事業の取組		○	○					○

	取組地域	取組内容	生活機能の確保	地域産業の振興	交流福祉活動の促進	拠点の整備	地域計画の検討	協働支援事業		活力創出事業
								専門家派遣	元気創出応援	
31	岩国市美和町秋掛 (秋掛地区ふるさとづくり推進協議会)	地域の魅力発信及び伝統文化体験を通じた交流促進の取組		○	○					○
32	光市束荷 (束荷コミュニティ協議会)	空き家活用による拠点創出の取組		○	○					○
33	長門市宇津賀 (NPO法人ゆや棚田景観保存会)	棚田米を活用した商品開発の取組		○	○					○
34	長門市向津具 (むかつ国で遊ぼう協議会)	歴史文化資源のデジタル化と体験交流による地域活性化の取組		○	○					○
35	柳井市平郡東 (平郡東島おこし推進協議会)	島旅の企画・運営を通じた交流促進の取組		○	○					○
36	柳井市平郡西 (平郡西地区コミュニティ協議会)	島の魅力を伝え、島内外を含めた交流を活性化する取組	○		○					○
37	柳井市日積 (日積地区コミュニティ協議会)	情報発信の強化による交流・地域資源活用促進の取組		○	○					○
38	柳井市柳北 (柳北地区コミュニティ協議会)	夢プラン始動に向けた取組					○	○		
39	柳井市柳北 (柳北地区コミュニティ協議会)	夢プランの実現に向けた地域活動活性化の取組	○		○					○
40	柳井市新庄 (新庄地区コミュニティ協議会)	夢プラン策定に向けた取組					○	○		

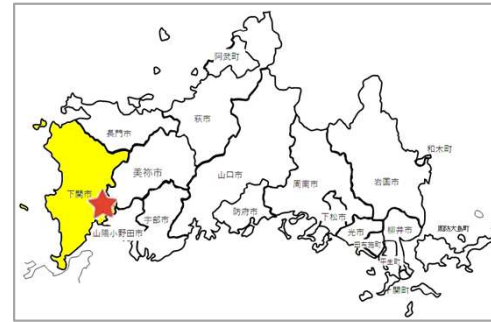
	取組地域	取組内容		生活機能の確保	地域産業の振興	交流福祉活動の促進	拠点の整備	地域計画の検討	協働支援事業		活力創出事業
									専門家派遣	元気創出応援	
41	柳井市新庄 (新庄地区コミュニティ協議会)	夢プラン実現に向けた「新庄未来10咲事業」の取組	デジタル		○	○					○
42	柳井市伊陸 (伊陸地区コミュニティ協議会)	直売所の販売力強化とICT活用で地域活性化する取組	デジタル	○	○	○					○
43	柳井市伊陸 (伊陸地区コミュニティ協議会)	情報発信力の強化と高齢者を対象としたICT普及促進の取組	デジタル	○	○	○					○
44	柳井市阿月 (阿月地区コミュニティ協議会)	特産品「せとみ」を活用した産業振興及びPR強化の取組	デジタル		○	○					○
45	美祢市赤郷 (（一社）ドリームレッド)	特産品の開発・販売促進に向けた取組	デジタル		○	○					○
46	周南市大津島 (大津島地区コミュニティ推進協議会)	大津島における生活支援サービスの創出に向けた取組		○		○					○
47	周南市和田 (和田の里づくり推進協議会)	和田空き家再生プロジェクト事業の取組			○	○					○
48	周南市三丘 (“ほっと三丘”コミュニティ協議会)	地域文化記録のデジタルアーカイブ化に向けた取組	デジタル			○			○		
49	周南市三丘 (“ほっと三丘”コミュニティ協議会)	耕作放棄地や空き家の活用に向けた取組	デジタル	○	○						○
50	周南市大潮 (大潮の里をまもる会)	農産物加工・販売拠点の継承に向けた取組			○	○					○

	取組地域	取組内容	生活機能の確保	地域産業の振興	交流福祉活動の促進	拠点の整備	地域計画の検討	協働支援事業		活力創出事業
								専門家派遣	元気創出応援	
51	山陽小野田市川上 (川上地区自治連合会)	川上地区将来計画(夢プラン)策定の取組					○	○		
52	山陽小野田市川上 (川上地域ICT活用検討協議会)	地域課題をICT活用によって解決する取組			○				○	
53	山陽小野田市川上 (川上地区自治連合会)	地域内での6次産業化促進の取組		○	○					○
54	田布施町麻里府 (麻里府地域夢プラン検討会・実行委員会)	夢プランの策定及び実行に向けた取組					○	○		
55	田布施町麻里府 (まりふ うみねこ団)	イベントの開催による地域活性化の取組		○	○					○

デジタル

※事例中の「元気生活圏づくり推進方針」及び「地域の夢プラン」については、事業実施時点の有無を記載しています。

1 農産物加工所の運営団体による年間供給体制づくりの取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業

令和2年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

実施主体

さだつね
貞恒農産加工所

元気生活圏づくり推進方針

有・無

取組地域

よしだ
下関市吉田地域

地域の夢プラン

有・無

地域の概要

- ・人口：1,175人、世帯数：640世帯、高齢化率：49.4%（令和7年11月末現在）
- ・下関市の北東に位置する田園地帯。
- ・第一次産業が中心で、特に「吉田なす」はブランド品として有名。

取組の背景

【背景】

- ・平成30年度～令和元年度に補助事業を活用して「貞恒農産加工所」を整備。
- ・農家・非農家に関係なく、地域の女性たちの交流をもとに農産加工施設の運営事業体「里山工房よっちゃん」を設立。
- ・吉田園芸組合員や(農)吉田ファーム等の地域の農家が栽培した旬の農産物を原料として年間を通して加工品を製造。近隣の直売所や観光施設等で販売できる体制を構築することで、「里山工房よっちゃん」の経営力強化と地域コミュニティの活性化を図る。

取組内容

【取組内容】

- ・「里山工房よっちゃん」活動開始以来、製造販売を行っている簡易包装形式の「吉田なすからし漬け」の包装パッケージ改善等により土産物用新商品として展開
- ・商品を統一的にPRするための「里山工房よっちゃん」のロゴマーク作成
- ・なすからし漬けの販路開拓（カモンワーフでの販売に向けた取組）
- ・作業環境整備による生産性の向上

取組の成果

【成果】

- ・ロゴマーク完成
- ・「吉田なすからし漬け」の新パッケージ商品完成
- ・「やまぐち6次産業化・農商工連携商品」の認定
- ・カモンワーフ内の飲食店舗において、新パッケージ商品の販売開始

今後の展開

【今後の展開】

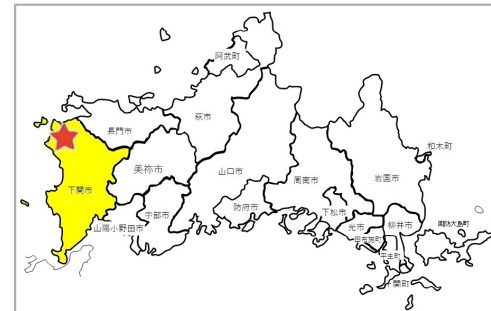
運営事業体の経営力向上と地域農産物の利用率向上による生産農家の所得向上。



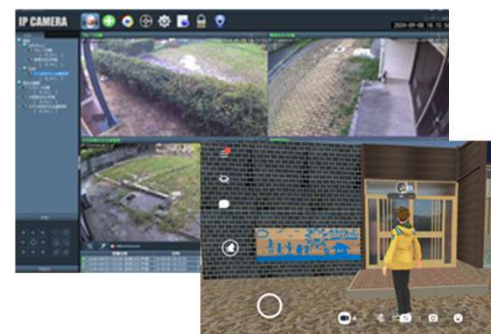
ポイント・工夫した点

- ・加工所の整備に向けて、運営事業体を新たに組織するため、地域から参加者を募り、農産加工検討チームを設置。
- ・検討チームで商品開発の検討や研修を実施し、事業計画書を作成。
- ・「里山工房よっちゃん」設立に当たり、検討チーム員が設立発起人となった。

2 仮想空間活用型地域課題解決プラットフォーム創出の取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業

令和6年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

実施主体

一般社団法人たきびれっじ

元気生活圏づくり推進方針

有・無

取組地域

ほうほく
下関市豊北地域

地域の夢プラン

有・無

地域の概要

- ・人口：7,219人、世帯数：3,937世帯、高齢化率：58.2%（令和7年3月31日現在）
- ・下関市の北西部に位置する。
- ・農林業、漁業を主産業としており、北長門海岸国定公園に指定された美しい景観や角島などの観光地を有する。

取組の背景
・
取組内容

【背景】

- ・海岸沿いの観光客は多いものの通過型の観光であり、豊富な地域資源はあるが人手・認知度不足により活かせておらず、人口の流出が深刻。

【取組内容】

- ICT技術を活用することで地域のポテンシャルを引き出し、認知度を高め、国内外から交流人口を呼び込むことを目指して、以下の取組を実施。
- ・地域に実在する建物等を仮想空間に3か所構築し、交流イベントを開催
 - ・アバターを使った人手不足解消の実証実験
 - ・仮想空間利活用セミナーの開催

取組の成果
・
今後の展開

【成果】

- ・地域のリアルをバーチャル空間を通じて伝えるイベントにより、100人以上の地域外の方との交流が新たに生まれ、県外から11人が実際に来訪することにつながった。
- ・遠隔地からアバターを活用することで人手不足の解消を図る実証を行い、有効性と課題の確認ができた。

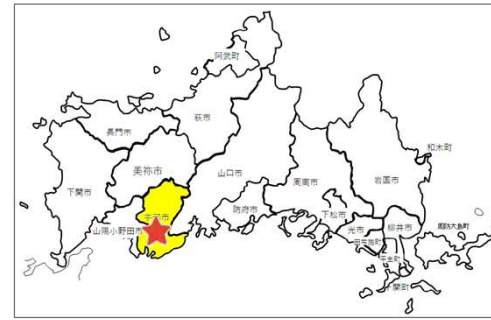
【今後の展開】

- ・取組の成果を基盤として、バーチャルからリアルなまちとの関わりを生む「まちのDX案内所（仮称）」の設置に向けた取組を進め、持続的な運営体制の整備を目指す。

ポイント・
工夫した点

ICT技術の活用が利用者にとってハードルが高いものにならないよう、苦手意識を持つ方や高齢者もシームレスに利用できるような仕組みとなるよう心掛けた。

3 地域みんなで子どもを育む取組



実施主体	ことう 厚東地区コミュニティ推進協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	ことう 宇部市厚東地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> 人口：1,525人、世帯数：761世帯、高齢化率：49.2%（令和7年4月1日現在） 宇部市の中央部に位置する。 主な産業は農業で、集落営農法人や生産組合による野菜の栽培が盛んな地域。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚東地区は地域のつながりが強く、「厚東っ子はみんなで育てる」という意思のもと、地域のNPO法人運営の学童保育や厚東見守り隊（平成15年2月結成）の活動など、小中学校と積極的に連携し、教育や子育てにも非常に熱心な地域である。 少子高齢化による人口減少に早くから着目し、高齢者や子どもの見守り活動を平成15年に始めた。 令和2年12月には地域計画を更新（「モノトーンKOTO2021-2025」）、「暮らし続けたい」「住んでよかった」という思いを次世代につなぎ、地域の活性化を図ることを目的に活動している。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区出身者（保育士、警察官、医師、デザイナーなど）による小学生、中学生へのキャリア教育を実施。 地区の魅力や移住者の体験談などの動画を作成し、動画投稿サイトやSNSで発信。 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 出身者が故郷の良さを再認識する機会となり、講義を受けた子どもたちにも伝えることを期待。 動画の作成作業を通じ、地域コミュニティと関わりの少なくなった世代と役員の世代が対話、交流するきっかけとなった。 <p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容の充実を図りながら、学校と連携したキャリア教育を継続的に実施する。 動画などによる地域の魅力発信を継続し、移住者の増加や空き家対策につなげる。 若い世代が活動に参加しやすい体制や環境づくりを目指す。 		

- 分野
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



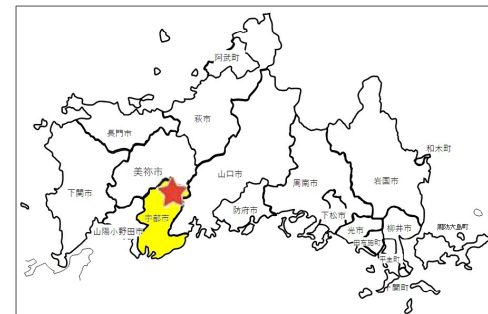
ポイント・工夫した点

- キャリア教育実施に当たり、子どもが将来なりたい職業上位の職業や幅広い世代の講師を選定し、興味を持たせるようにした。
- 動画作成、編集、投稿などをふれあいセンター内で行うことで、若い世代の参画を促し、役員世代との交流につなげた。

活用事業

令和3、4年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

4 夢プラン「ONOプロジェクト」の100%達成に向けた取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業

令和4、5、6年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

実施主体

おの
小野地区コミュニティ推進協議会

元気生活圏づくり推進方針

有・無

取組地域

おの
宇部市小野地域

地域の夢プラン

有・無

地域の概要

- ・人口：981人、世帯数：537世帯、高齢化率59.4%（令和7年4月1日現在）
- ・宇部市の北部に位置する山林や田畑が広がる農耕地帯で、お茶の生産が盛んな地域。
- ・観光資源として、ダム湖100選にも選ばれている人造湖の小野湖がある。

取組の背景

【背景】

- ・少子高齢化が進行する中、ONOプロジェクトの目的である「みんなが幸せな住み良い小野づくり」のため、人口減少対策や高齢者世帯への生活支援など早急な対策が必要。

取組内容

【取組内容】

- ・子育て世代の移住促進を図るため、地域や小学校の魅力をPR動画やSNS等で発信。
- ・地域住民と移住希望者による空き家改修ワークショップを開催。
- ・旧中学校施設「竹LABO」を拠点に、竹や和紙等の地域資源を活用したワークショップやセミナーを開催するとともに、インバウンド対応として「和紙のしおり」を英語・韓国語・中国語で制作。
- ・有償ボランティアサービス事業は、全世帯を対象にニーズ把握・分析調査を行い、家事支援や空き家管理などのサービス内容を紹介するリーフレットを制作。

取組の成果

【成果】

- ・小野地区への移住（うち子育て世代）は、R4：4世帯（2世帯）、R5：3世帯（1世帯）、R6：4世帯（1世帯）で、活動の成果が表れている。
- ・紙漉き体験には、インバウンドからの体験申込みも徐々に増え、「竹LABO」を拠点とした交流人口の拡大につながった。
- ・生活支援サービスの充実により、高齢者等が安心・安全に暮らせる環境が強化された。

今後の展開

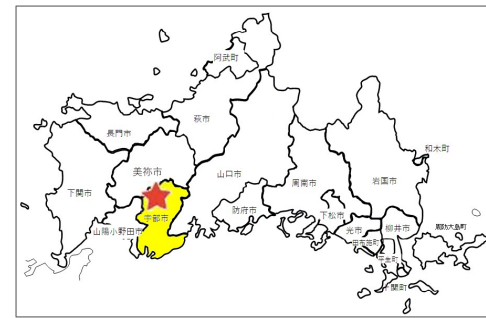
【今後の展開】

- ・コミュニティ所属団体間の連携・協力を一層強化し体制を整えていくとともに、お互いに知恵を出し合い地区の活性化を目指していく。

ポイント・
工夫した点

それぞれの取組が継続的に実施できるよう各団体に働きかけを行い、地域が一体となって活動した。

5 岩戸神楽舞の継承を通じた地域活性化への取組



- 分野
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業
令和3、4、5、6年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

実施主体

岩戸神楽舞保存顕彰会

元気生活圏づくり推進方針

有・無

取組地域

まぐら
宇部市万倉地域

地域の夢プラン

有・無

地域の概要

- ・人口1,096人、世帯数565世帯、高齢化率46.8%(令和7年4月1日現在)
- ・宇部市の北部に位置し、美しい山並みや有帆川に囲まれたのどかな田園風景が広がる自然豊かな地域。
- ・基幹産業は農業で、「万倉なす」が有名。

取組の背景

【背景】

- ・長年にわたり受け継がれてきた伝統文化「岩戸神楽舞」を、地域の人材発掘・担い手育成や地域外との交流を促進するツールとして活用し地域活性化につなげる方策を検討。

取組内容

【取組内容】

- ・小中学生を対象に、神楽舞の舞台上を飾る彫り物（切り絵）制作や神楽舞の体験教室を開催し、地域の伝統文化に継続的に親しむ機会を創出。
- ・奉納舞のライブ配信を通じて地域の魅力を広く発信し、観光資源として御伊勢山への参道ルートを整備するとともに神楽舞オリジナルグッズを販売。

取組の成果

【成果】

- ・小中学校で毎年ワークショップを開催することで、子ども達の感性や想像力を育むとともに、ふるさとの財産を大切にしたい思いを育み、次世代人材の育成につながった。
- ・奉納舞や外部公演等を通じて地域内外の交流が深まり、住民の地域への誇りや郷土愛の醸成に寄与した。

今後の展開

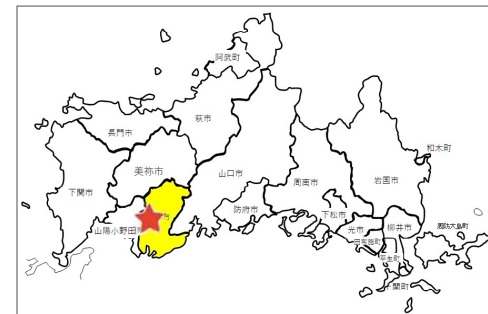
【今後の展開】

- ・通年の情報発信の強化（SNS等）
- ・大学生から提案のあったアイデアの具現化（ガチャやトレーディングカード等）

ポイント・工夫した点

- ・単なる「神楽舞の継承」にとどまらず、地域住民や小中学生、関係団体等を巻き込みながら、誇りをもって「地域を伝承する」ことを目的に神楽舞を一つのツールとして活用。
- ・「神楽」を教育素材や観光資源、さらには地域ビジネスとして活用できるように、新たな付加価値の創出に向けて関係者と工夫。

6 高齢者の見守り体制構築及び地域の魅力発信の取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業
令和5、6年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

実施主体

ふなき
船木地区コミュニティ推進協議会

元気生活圏づくり推進方針

有・無

取組地域

ふなき
宇部市船木地域

地域の夢プラン

有・無

地域の概要

- ・人口：3,190人、世帯数：1,601世帯、高齢化率：37.9%（令和7年4月1日現在）
- ・宇部市の北西部に位置する。
- ・史跡、歴史、伝承文化を活用した地域づくりに取り組んでおり、古くから琴の製作で有名。

取組の背景

【背景】

- ・船木地域は、2045年に人口が半減し高齢化率が50%を超えると推計されており、高齢者の見守り体制の強化、地域の活性化、移住・定住の促進が課題。

取組内容

【取組内容】

- ・認知症の方が徘徊した時に通信アプリ【Slack】を活用し、速やかに状況を共有できる体制を整備。
- ・歴史ある船木の街並みや地域で受け継がれてきた行事を紹介するDVDを制作し、動画投稿サイト（YouTube等）にも掲載することで、地域の魅力を広く発信。

取組の成果

【成果】

- ・令和5年に「認知症見守りネットワーク」を62名の参加により立ち上げ、地域で高齢者を見守る体制が構築された。
- ・船木地域の魅力を継続的に発信することにより、移住・定住の促進や空き家対策への寄与が期待される。

今後の展開

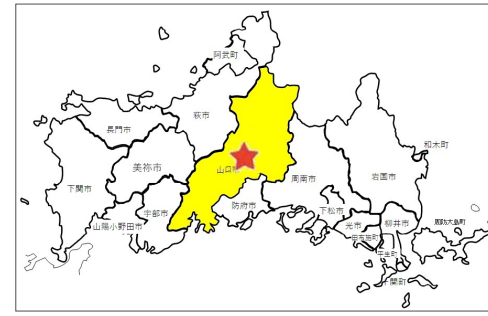
【今後の展開】

- ・ネットワークのメンバーには「認知症SOS訓練」や「船木あったか見守り活動情報交換会」等への参加を通じ、平常時から見守り活動への理解と意識向上を図るとともに、ネットワークの安定的な運営に向けメンバーの増員を図っていく。
- ・様々なお祭りやイベント等においてDVDを上映し広く周知するとともに、地域の史跡等へのQRコード設置により現地で映像を視聴できる環境づくりについて検討。

ポイント・工夫した点

- ・「認知症見守りネットワーク」の通信手段として【Slack】を導入し、その講習会を行うことで、円滑な情報共有体制の構築及び参加者の参画意識の向上を図った。
- ・地域の新聞「宇部日報」への記事掲載により、取組内容の周知に努めた。

7 「未来につなぐ」次期地域づくり計画策定への取組



実施主体	にほ 仁保自治会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	にほ 山口市仁保地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> 人口：2,632人、世帯数：1,330世帯、高齢化率：46.31%（令和7年10月31日現在） 主に仁保川沿いに広がる農山村地域。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現行の地域づくり計画では、「地域活性化」「産業振興」「定住促進」の具現化に向けた取組の推進が弱く、課題となっていた。 地域の担い手が減少する中、地域づくりに関わる新たな人材育成や啓発、「地域運営組織」や「小さな拠点づくり」の機運醸成に向けた情報や助言を必要としていた。 これらの課題を踏まえ、地域の創造的な未来について地域住民とともに考えながら、実効性のある次期地域づくり計画を策定することとした。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部専門家を継続的にファシリテーターとして招き、地域の将来について考える「仁保未来会議」を開催。 未来会議参加者による先進地視察を実施（長門市俵山温泉、益田市豊川地区）。 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部専門家より、地域づくりに関する柔軟な思考や新たな考え方、先進的な取組の情報提供を受けるとともに、仁保地域の取組について客観的な評価を得ることができた。 「仁保未来会議」を通じて、総勢50名弱の多様な立場の参加者から寄せられた理想や意見を反映した「第4次仁保地域づくり計画」を策定することができた。 <p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仁保自治会（≡地域運営組織）、地域団体、地域交流センターの連携による地域活性化策を推進していく。 より積極的に持続可能な地域づくりに取り組む「地域経営」団体の設立を行う。 		

- 分野
- 生活機能の確保
 - 地域産業の振興
 - 交流福祉活動の促進
 - 生活交通の確保
 - 拠点の整備
 - 地域計画の検討



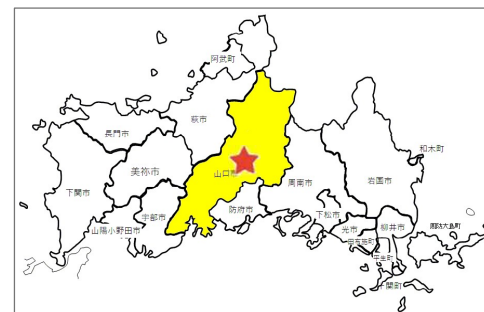
ポイント・工夫した点

- テーマごとに関連する地域の団体等に参加してもらった。
- メンバーを固定せず、多様な方が随時参加できる形としたことで、それぞれの立場から幅広い意見を聴取できたほか、参加者同士の交流や情報交換の機会創出につながった。

活用事業

令和6年度
やまぐち元気生活圏づくり協働支援事業（専門家派遣事業）

8 外部人材を活用し地域ぐるみで行うサル被害対策の取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業

令和6年度
やまぐち元気生活圏づくり協働支援事業（元気生活圏元気創出応援事業）

実施主体

にほ 仁保自治会、にほ 仁保となりの柿プロジェクト協議会

元気生活圏づくり推進方針

有・無

取組地域

にほ 山口市仁保地域

地域の夢プラン

有・無

地域の概要

- ・人口：2,632人、世帯数：1,330世帯、高齢化率：46.31%（令和7年10月31日現在）
- ・主に仁保川沿いに広がる農山村地域。

取組の背景

【背景】

- ・山林の荒廃や耕作放棄地増加、農業従事者の減少に伴い、サルによる農作物被害が深刻化。
- ・令和6年度に「仁保地域ぐるみサル被害対策計画」を策定し、地域住民が主体となり、行政・民間の支援を得ながらサル被害防止対策に取り組むこととした。

取組内容

【取組内容】

- ・地域住民、県庁中山間応援隊、山口市職員が連携し、地区周辺の環境整備（放置果樹の伐採、剪定）や意見交換会等を実施。
- ・山口県立大学との協働取組「となりの柿プロジェクト」では、地区内にある「放置柿」に着目し、柿の収穫・加工体験に取り組むとともに、地域住民への聞き取り調査や意見交換を行い、学生目線でサル対策を提案・実施。
- ・サルによる被害と対策への関心を高めるため、ラテンダンス「サルサ」を取り入れた「サルサルサ（サル去るさ）」イベントを開催。

取組の成果

【成果】

- ・大学生が聞き取り調査を通じて、地域におけるサル被害への理解を深めることができた。
- ・地域住民側も若い世代の視点や意見を聞く機会となり、活動の活性化につながった。
- ・「サルサルサ」イベントにより地域内外の交流が促進され、関係人口が増加した。

今後の展開

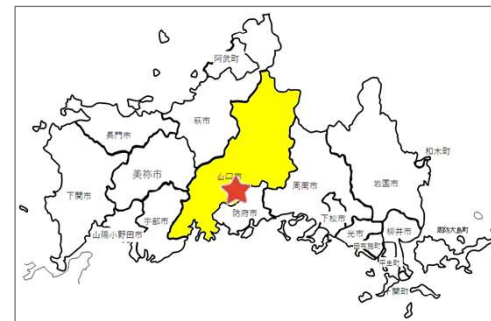
【今後の展開】

- ・柿もぎ体験ツアーの開催や柿加工品の開発・販売を通じて得られる収益を里山整備につなげる仕組みづくりを検討する。
- ・「仁保地域ぐるみサル被害対策計画」の中で、様々なサル被害対策に向けた取組を進めていく予定。

ポイント・工夫した点

サルによる被害と対策をテーマとして、大学生と地域住民の間で情報交換を始め、計6回のプログラムを通して、様々な体験や交流の機会を設けた。

9 次期地域づくり計画策定に向けた自治会業務の負担感低減の取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業
令和3年度
やまぐち元気生活圏づくり協働支援事業（専門家派遣事業）

実施主体

おさば
小鯖地域づくり協議会

元気生活圏づくり推進方針

有・無

取組地域

おさば
山口市小鯖地域

地域の夢プラン

有・無

地域の概要

- ・人口：3,795人、世帯数：1,915世帯、高齢化率：44.1%（令和7年10月31日現在）
- ・防府市との境に位置し、地域の中心を貫く国道262号線や中国自動車道山口ICを擁す交通の要衝。
- ・正田山、鳴滝、萩往還等の名所旧跡が点在し、小鯖八幡宮では古来より続く代神楽舞が引き継がれている。

取組の背景
・
取組内容

【背景】

- ・次期地域づくり計画策定に向けて、地域体制等の見直しを進めるために、令和2年度に中学生以上全住民アンケートを実施。
- ・アンケート結果について、世代別報告会の際に意見交換会を実施したところ、「自治会や地域団体の運営や役員」に関する意見が最も多く、自治会運営の厳しさが浮き彫りになった。
- ・見守りや助け合いの仕組みの最小単位である自治会の運営等の見直しを行い、持続可能な地域づくりにつなげていく必要が生じている。

【取組内容】

- ・専門家の助言を受けながら、自治会の役や会議、行事を棚卸することで見える化による役員の負担や組織運営の課題の洗い出し。
- ・モデルとして選定した5地区の自治会長業務の棚卸、専門家による分析。

取組の成果
・
今後の展開

【成果】

現在の自治会長は業務に取り組むことは自治会長の責務と考えるおられ、現時点で業務の整理は難しいが、単位自治会の役割を洗い出すことができ、地域全体で体制や業務の見直しを行うべきとの機運が高まった。

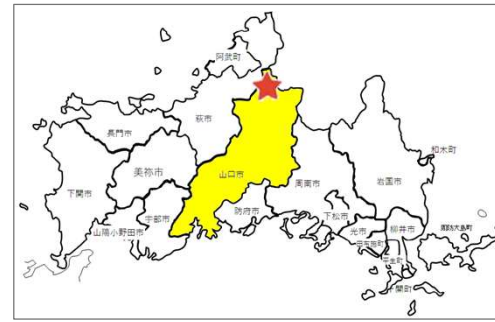
【今後の展開】

負担感を抱く原因が役員の具体的な業務が見えない不安に起因するものであることから、今回棚卸を行った役割、業務の参考になる資料を作成し、各自治会長へ紹介。

ポイント・工夫した点

全地域の自治会長にそれぞれの地域の課題を聞き、意見交換を行った。

10 「嘉年クルミの里づくり」事業の取組



実施主体	あとうかね 阿東嘉年地域づくり協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	あとう かね 山口市阿東地域（嘉年地区）	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：300人、世帯数：192世帯、高齢化率：67.7%（令和7年10月31日現在） ・山口市の北部に位置し、農業が産業の中心。 ・水稲やトマトの栽培、畜産業が盛ん。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に適した特産を調査、研究した結果、「リンゴの適地がクルミの適地」であることが分かった。 ・景観形成がまちづくりの第一歩との考えのもと、地域が一体となってクルミの栽培を行い、「クルミの里づくり」に取り組んでいる。 ・住民の健康増進や地域の景観保持、地域経済活性化に結び付けるため、平成30年度から耕作放棄地（約2ha）を活用して地域ぐるみでクルミ栽培を開始。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クルミの木225本を植付け（H30～R2）、木の管理、草刈り、防草シート張り作業をイベントとして実施し、PRのために看板を設置。 ・地域の畜産農家の協力により堆肥を散布。 ・地域内で約280本の苗を配布し、各家庭で植え付け。 ・クルミを使った菓子や料理、酒づくりを研究。 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クルミの木が人の背丈以上に成長し、令和4年度に61個のクルミを初収穫。 ・イベントを開催することで「クルミ事業」の取組を地域内外に周知できた。 <p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植栽後の木の管理やクルミを使った商品開発に取り組む。 ・作業従事者の確保が課題。 		

- 分野
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



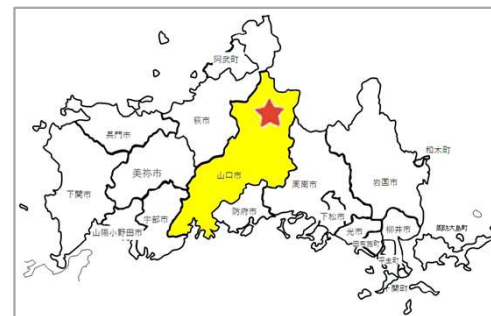
ポイント・工夫した点

- ・地域内外へのクルミ事業の周知や交流人口の増加を目指してクルミイベントを開催。
- ・イベント開催時にクルミを使った菓子や料理を試食してもらい、交流を深めた。

活用事業

令和2、3年度
やまぐち元気生活圏づくり協働支援事業（元気生活圏元気創出応援事業）

11 デジタル技術を活用し高齢者の日常を豊かにする取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業

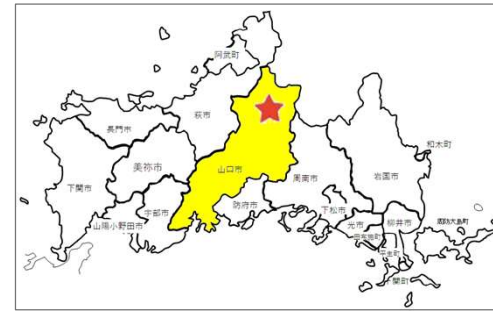
令和6年度
やまぐち元気生活圏づくり協働支援事業（元気生活圏元気創出応援事業）

実施主体	あとうじふく 阿東地福デジタル活用研究会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	あとう 山口市阿東地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：4,460人、世帯数：2,532世帯、高齢化率：61.6%（令和7年10月31日現在） ・山口市の北東部に位置し、水稻を中心とした農業が盛んで、りんご、なし、肉用牛などの産地として有名。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進展し、免許返納をはじめ、移動手段を持たない高齢者が年々増加している。 ・移動手段の不足や高齢により足腰が弱くなった等の理由から、移動が困難な高齢者は外へ遊びに行くことが難しくなっている。 ・地域コミュニティの低下や高齢者の孤立化等の課題を解決するため、デジタル技術を活用して、日常を豊かにする取組を研究することとした。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で暮らす高齢者の嬉しさや楽しさの向上を目指すことを目的に、大学生と協働し、遠隔地での買い物体験を実証（1回目：東京の百貨店、2回目：横浜中華街）。 ・実証前後は、満足度調査やヒアリング、意見交換等を実施。 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業に参加した高齢者には、日常生活で体験できない楽しみを感じる機会となった。 ・日頃IT機器を使用しない高齢者の方にも、新たな楽しみが広がる可能性を感じてもらうことができた。 <p>【今後の展開】</p> <p>地域には旅行などの楽しみを諦めている高齢者の方も多いため、今回の取組は、地域の高齢者の新しい楽しみの一つとして可能性を感じさせてくれた。今後も活動を続け、さらに地域の高齢者の幸福度を高めるアイデアを見つけていく</p>		

ポイント・工夫した点

参加した高齢者の方にヒアリングを行い、画像や音声の精度などリモート環境で生じる課題などを抽出し、高齢者がストレス無く参加できる環境づくりを行った。

12 移動販売やデジタル技術活用による高齢者支援の取組



実施主体	NPO法人ほほえみの郷トイトイ	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	山口市 ^{あとう} 阿東地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> 人口：4,460人、世帯数：2,532世帯、高齢化率：61.6%（令和7年10月31日現在） 山口市の北東部に位置し、水稻を中心とした農業が盛んで、りんご、なし、肉用牛などの産地として有名。 		
取組の背景	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進展し、免許返納をはじめ、移動手段を持たない高齢者が年々増加している。 買い物だけでなく、見守りや困りごとの相談など地域住民が安心して生活するために移動販売のニーズが高まっている。 新型コロナウイルスの影響等もあり、地域コミュニティの低下や高齢者の孤立化が課題。 		
取組内容	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 移動販売車用冷蔵庫の大型化により、品揃えの充実を図り、買い物支援、生活支援を強化することにより高齢者の生活環境を維持。 移動販売スタッフへの通知機能等を備えた中学生の手作りのIoTデバイス（トイトイスイッチ）を設置し、デジタル技術を活用した高齢者の意思表示のしくみの有効性を検証。 		
取組の成果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 冷蔵商品の積載量を増やすことにより利用する高齢者のニーズに応えることができるようになり、利用者の満足度が向上。地域での暮らしに対する安心につながった。 デジタル技術の活用により高齢者と地域の拠点がつながることで高齢者の孤立化を防止。地域とのつながりを持ち、安心して生活できることの実証となった。 		
今後の展開	<p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活支援サービスの構築等地域包括ケアにつなげる。 今回実証に用いたIoTデバイスを応用し、子供の見守り、民生委員、児童委員の訪問負担の軽減など様々な分野での活用につなげる。 		

- 分野
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



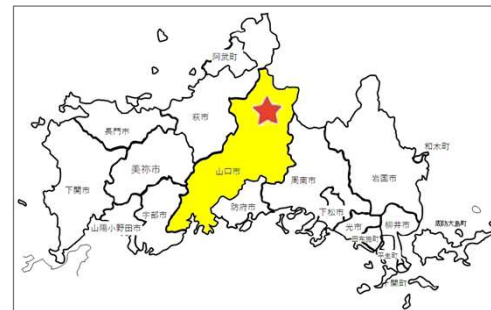
ポイント・工夫した点

- ・買い物支援だけでなく、見守りや困りごとの相談に対応するため、移動販売車1台にスタッフ2名を配置し、利用者との会話の時間を確保できるように工夫。
- ・IoTデバイスの組み立てを中学生のICT教育の一環として実施し、地域内で高齢者を支える仕組みとなるよう工夫。

活用事業

令和2、3年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

13 持続可能な地域経営のための新たなビジネスモデル創出の取組



実施主体	NPO法人ほほえみの郷トイトイ	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	山口市阿東地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> 人口：4,460人、世帯数：2,532世帯、高齢化率：61.64%（令和7年10月31日現在） 山口市の北東部に位置し、水稻を中心とした農業が盛んで、りんご、なし、肉用牛などの産地として有名。 		
取組の背景	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進展し、免許返納をはじめ、移動手段を持たない高齢者が年々増加している。 買い物だけでなく、見守りや困りごとの相談など地域住民が安心して生活するために移動販売のニーズが高まっている。 地域コミュニティの低下や高齢者の孤立化、医療・介護・交通などの日常生活に必要な不可欠な機能の維持・確保が課題となっている。 		
取組内容	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道沿いにある遊休施設を活用した総菜直売所の開設。 地元野菜等をより活用した惣菜メニューの開発・販路拡大。 付加価値創出を目指し、地域外への販路拡大及びフィードバックの収集・分析を実施。 軽度障がいの方が活躍する場として総菜直売所を提供。 		
取組の成果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の担い手が不足する中、惣菜直売所が地域の担い手不足解消のモデルとなる。 直売所の開設により、地域外の方にも商品を手にとってもらうことで、阿東地域を知り、関わるきっかけになる。 阿東地域内の方が購入しやすい環境を作ることができた。 		
今後の展開	<p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> データ分析やマーケティングを学んだことで、今後、人口減少が進んでも、持続可能なビジネスモデルを創出し、生活機能の確保につなげていく。 		

- 分野
- 生活機能の確保
 - 地域産業の振興
 - 交流福祉活動の促進
 - 生活交通の確保
 - 拠点の整備
 - 地域計画の検討



惣菜用冷蔵庫

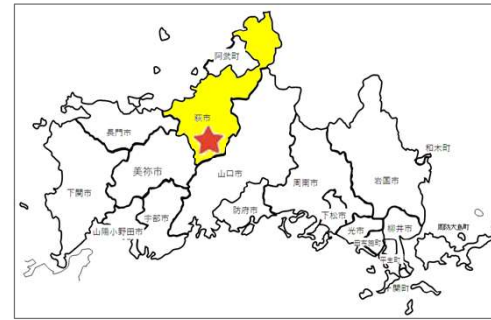
ポイント・工夫した点

- 販路拡大や販売データ活用のための講習会を開催し、参加者が実際に活用できるようなプログラムとした。
- 障がいのある方にとって社会と関わる機会を創出するとともに、地域においては担い手の確保につながった。

活用事業

令和6年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

14 歴史的町並みを活かした地域の取組



実施主体	萩往還 ^{ささなみ} 佐々並どうしんてやろう会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	萩市旭地域（佐々並 ^{ささなみ} 地区）	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> 人口：514人、世帯数：259世帯、高齢化率：58.6%（令和7年9月末現在） 萩市の南西部に位置しており、山口市からもアクセスがよい。 佐々並市は国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> 佐々並地区は萩往還の宿場町としての町並みが残り、平成23年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。 萩往還の旧街道を歩いて佐々並に観光に訪れる方も多いため、萩往還を活用したイベントの開催等により地域外からの来訪者を増やし、道の駅や重要伝統的建造物群保存地区に立ち寄る機会を増やす仕組みづくりが可能。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 佐々並宿発祥の礎である御茶屋復元に向けた調査研究。 地区の伝統工芸を活かした体験教室の開催。 伝統的建造物群保存地区の歴史的町並みを活かした小花のまちづくり、竹灯籠、水車の設置など、魅力的な交流イベントの開催。 佐々並小学校と連携した伝統的建造物群保存地区の定点ガイドの実施。 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域が持つ魅力の地区内での共有と次世代への継承が図られた。 小学校と連携した取組により、子供たちが地域のことを学習し、地域への愛着心と地域の魅力を伝える若い力の醸成につながった。 コロナ禍により、イベントの開催に制限がかかったため、地域外へのPR効果が薄れた。 <p>【今後の展開】</p> 地区内の他団体と連携し、団体の法人化を視野に入れている。		

- 分野
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討

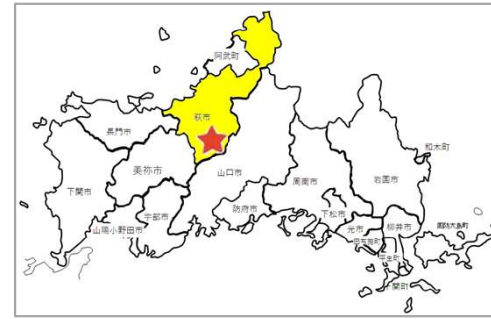


ポイント・工夫した点

地区内の小学生親子も萩往還や伝統的建造物群などの地域学習を行い、地域の伝統・魅力の次世代への継承を行っている。

活用事業
令和2、3年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

15 地域の小学校存続に向けた移住定住促進活動の取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業

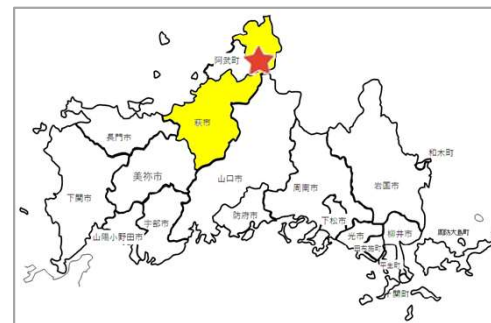
令和3、4、5年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

実施主体	ささラブ応援隊	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	萩市旭地域 <small>ささなみ</small> （佐々並地区）	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：514人、世帯数：259世帯、高齢化率：58.6%（令和7年9月末現在） ・萩市の南西部に位置しており、山口市からもアクセスがよい。 ・佐々並市は国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている。 		
取組の背景	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学前児童がなく、この状況が続けば地域の小学校が廃校（休校）となってしまう状況にあった。 ・学校存続や地域の発展のため、地域住民や児童生徒の保護者が主体となって、行政や学校と協働し、子育て世代の移住者を増やす取組を企画、運営、実践する体制が構築された（令和2年 ささラブ応援隊設立）。 		
取組内容	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の移住検討者を対象に「小学校と住まいの見学会」のイベントを開催。 ・移住者へ紹介する空き家を確保するため、地区長や住民団体の長で組織する団体を発足し、住民が空き家所有者へ活動を促す取組を開始。 ・活動状況や小学校の様子などをSNSで情報発信。 		
取組の成果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組開始から4年半で9家族34人（うち小学生以下17人）が移住。 ・小学校HPは保護者目線の記事を作成するとともに平日はほぼ毎日更新するなど丁寧な情報発信を行うことにより県外からも問合せ。 		
今後の展開	<p>【今後の展開】</p> <p>地区の交流施設を改修し、その施設を拠点に住民と地域外の人が交流し、移住希望者との関係づくりに取り組む。</p>		

ポイント・工夫した点

- ・移住された家族にも、ささラブ応援隊の活動に参加いただき、移住者の目線で、次に移住される方を支援いただいている。
- ・地区の大工など空き家改修の専門知識を有するチームを設置し、空き家所有者の悩みに応え、アドバイスできる体制を整備。

16 休校校舎を活用して地域の特産品をPRする取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業

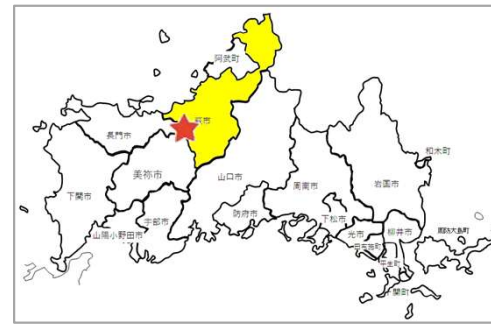
令和2、3年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

実施主体	やどみ 弥富むらおこし会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	すさ やどみ 萩市須佐地域（弥富地区）	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：383人、世帯数：208世帯、高齢化率：70.0%（令和7年9月末現在） ・減反政策に伴い、平成8年頃からソバの作付けを開始。 ・地区内の少子化により、平成31年3月で小学校が休校。 		
取組の背景	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弥富地区は県内有数のソバの生産地であるが、地区内で地元産のそばを食べることができる飲食店がなく、食べることができるのはイベント時に限定されていた。 ・そばのブランド化・認知度向上を図る上で拠点施設の創出が課題。 		
取組内容	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休校となった小学校の校舎を活用し、そば店の整備と特産品のPR事業を行い、交流人口の増加を促進。 ・提供するメニューの改定、広告宣伝、イベント、団体客対応の体制整備など、そばを中心とした特産品の消費拡大に向けた取組を実施。 ・地域の人々の憩いの場を作るきっかけとしてモーニングの提供を開始し、そば粉で作られるガレットをメニュー化。 		
取組の成果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休校校舎での営業が話題となったことで、団体客も訪れるようになり、県内外へのPR効果と地域への経済効果を得た。 ・校舎に人が出入りすることにより、学校校舎の老朽化を防ぐことができている。 		
今後の展開	<p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業を安定的に継続すること。 ・介護、福祉、交通サービスなどの地域課題への複合的な取組。 		

ポイント・工夫した点

- ・そば店の開設に当たって、地元説明会を開催して地域住民の理解を得ることに努め、初期運営資金の出資を募った。
- ・休校校舎の使用できそうな設備の活用、他の公共施設で不用となった備品を譲り受けるなど、初期投資ができるだけ安価になるよう努めた。

17 人口100人の山間の集落が元気になる取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討

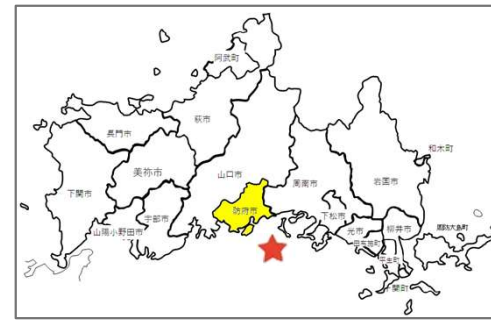


活用事業
令和3、4、5年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

実施主体	こま 木間地区社会福祉協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	こま 萩市木間地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：87人、世帯数：55世帯、高齢化率：73.6%（令和7年9月末現在） ・萩市の南西部に位置し、美祢市と隣接する。 ・平成30年3月をもって木間小中学校は閉校し、14歳以下の年少人口は0人。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内全体の少子高齢化が進み、市街地からも距離があるため、地区内で高齢者共助の仕組みづくりや地区が元気になるような取組を必要としていた。 ・令和2年度に地域の夢プランを策定し、子どもや親子連れをターゲットにして木間を訪れる機会をつくることで、関係人口の創出を目指している。 ・平成30年に廃校となった小中学校の校舎の活用が課題。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の整理、解決に向け、山口大学のコーディネーターを招いてワークショップを実施。 ・地区に子供がいないことから、保育園の遠足の誘致などにより地域外から子供を呼び込み、地元高齢者といも掘りなどの交流を通じて地域に活力が出る取組を実施。 ・廃校となった学校校舎を活動の拠点として整備し、イベントや料理教室などで活用。 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木間地区と定期交流を行う市外の子育て世帯等との関係を築くことができた。 ・ワークショップに参加いただいた山口大学医学部教授が関係人口となり、地区の行事や住民の健康相談でも関わりができた。 ・廃校校舎に人が出入りすることで施設の保全が図られている。 <p>【今後の展開】</p> <p>地区住民だけでなく、関係人口が木間地区の良さを情報発信し、地区と関わりになる人の輪を広げる。</p>		

ポイント・工夫した点 高齢化率が70%を超える地区のため、高齢者の外出機会の確保、心身の健康増進に視点を置いて活動を行っている。

18 SDGsにコミットした野島における海と陸の魅力発見の取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業

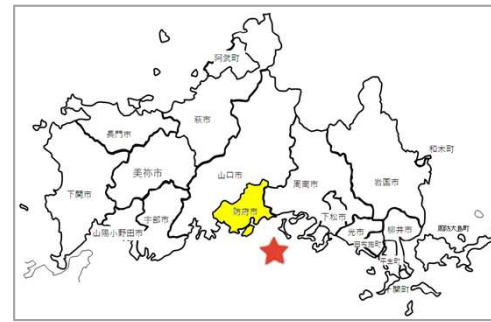
令和3、4年度
やまぐち元気生活圏づくり協働支援事業（元気生活圏元気創出応援事業）

実施主体	のしま野島をアートで活性化する会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	のしま防府市野島地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：61人、世帯数：43世帯、高齢化率：約75%（令和7年11月1日現在） ・防府市南東に位置しており、島全体が丘陵地で、北西部にわずかに平地が開け、その平地から斜面にかけて集落が形成されている。 ・地域の産業は漁業に特化しており、小型底引き漁業に取り組んでいる。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漂着ゴミ等が多いことが問題であるが、高齢化により清掃等が難しくなっている。 ・野島には、食べることができる野草や染料となる植物が豊富に植生している。 ・県立大学生がSDGsの「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさを守ろう」に関して地域の自然を生活に活かすための方法を学習するため、フィールドワークを実施。 <p>【取組内容】</p> <p>県立大学と協働し、市内の小学生と保護者を対象に地域の魅力を発信。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビーチクリーン、海辺や山歩き、地域資源（和ハーブ）の活用をテーマとした講演会 ・ワークショップ（ビーチクリーンで拾った漂流物を用いたアクセサリー制作等） 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山歩きによるフィールドワークにより野島の生態系保全に対する関心が高まった。 ・フィールドワーク等を通じて、野島の自然環境に対する多角的な視点と野島の活性化につながる商品開発等のアイデアを得ることができた。 ・海洋環境を知るためのビーチクリーンでは、多くの漂着ゴミを回収し、高齢化により清掃等が難しい野島の環境保全に貢献。 <p>【今後の展開】</p> <p>外部からのアイデアや来島者の力を借りて実施する環境整備や多世代交流、野島の自然を活かした商品開発等に取り組んでいく。</p>		

ポイント・工夫した点

- ・対象を小学生とすることで将来の交流人口の増加を目指した。
- ・低学年の児童でも興味を引くように講義の構成を工夫した。
- ・本取組を通じて、島を訪れるきっかけづくりや来訪意欲の喚起を図った。

19 野島白芋プロジェクトの取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業

令和3、4、5年度
やまぐち元気生活圏づくり協働支援事業（元気生活圏元気創出応援事業）

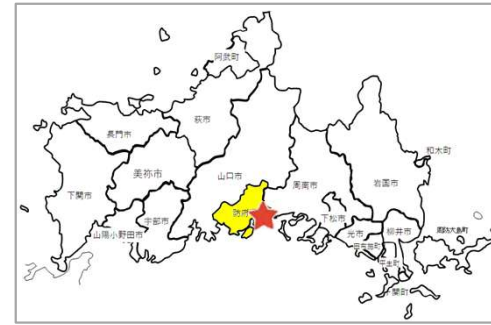
実施主体	のしま 野島白芋段々畑復活を目指す会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	のしま 防府市野島地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：61人、世帯数：43世帯、高齢化率：約75%（令和7年11月1日現在） ・防府市南東に位置しており、島全体が丘陵地で、北西部にわずかに平地が開け、その平地から斜面にかけて集落が形成されている。 ・地域の産業は漁業に特化しており、小型底引き漁業に取り組んでいる。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かつて、野島には段々畑が広がり、白いサツマイモが栽培されていたが、島民の高齢化、人口減少により、農業就業者が激減し、荒廃した状態の畑が増えてきている。 ・白いサツマイモに着目し、山口銀行と協働し、段々畑の再整備による景観の復活に取り組むとともに、栽培や加工により島の名物を作り出す活動を実施（野島白芋プロジェクト）。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荒廃した休耕地を整備し、農業大学校と連携して白いサツマイモを栽培。 ・開墾ツアーを企画し非日常体験の提供を行うとともに、自然豊かな野島の魅力を発信。 ・防府商工高校と連携して、白芋を使った加工品やレシピを開発。 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段々畑の整備により景観の復活が進んだ。 ・農作業、開墾作業体験の提供を通じて野島の魅力を発信。 ・防府商工高校との連携により開発した白いサツマイモを活用した商品（防府市内菓子店のプリンに野島白いもプリンを期間限定で追加）を販売。 <p>【今後の展開】</p> <p>荒廃している段々畑の所有者を特定し、提供の承諾を得て活動範囲を拡大していく。</p>		



ポイント・工夫した点

防府商工高校（農作業や加工品開発）や農業大学校（苗づくり）など地元の学生と連携することで、若年層の交流人口増加に努めた。

20 アプリを活用した情報伝達・共有の仕組みづくりの取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討

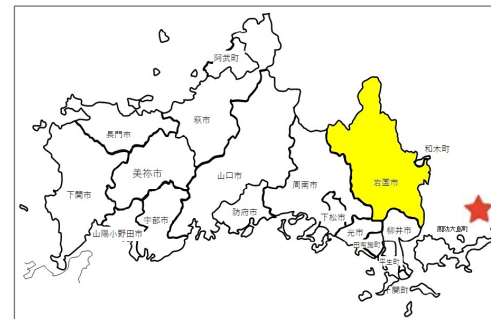


活用事業
令和3年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

実施主体	とのみ 富海地域活性化協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	とのみ 防府市富海地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：1,695人、世帯数：932世帯、高齢化率：約54%（令和7年11月1日現在） ・防府市東部に位置する。 ・海や山に囲まれており、夏には海水浴場が開設され、海水浴客で賑わっている。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の高齢化、人口減少が問題となっている。 ・地域の歴史、環境等の資源を活かした産業の活性化及び教育、福祉事業の充実により、いきいきと明るい住みよい町をつくり、若者の定住、他地域からの転入者を増やすことを目指している。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富海公式LINEアカウントを開設し、地域住民に対して迅速な情報伝達、共有を行うことができる体制を構築。 ・地域住民へのアンケート調査の実施。 ≪項目≫ 交通・生活インフラ整備、医療、高齢者、独居老人への支援、人と人とのつながり、環境保全と地域資源の活用、定住促進・空き家対策、子育て・教育、活性化協議会と地域との連携、土地利用、地域でやってみたい活動、これならできる活動 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の情報をタイムリーに共有することができるようになった。 ・山口大学によるアンケート結果の分析を通じて、地域住民のニーズの把握や分析ができた。 <p>【今後の展開】 地域づくりのデータ化と次世代への継承を行っていく。</p>		

ポイント・工夫した点
富海公式LINEの取扱説明会を市役所や公民館等で行い、普及率を高めた。

21 島民共同で行う地域の環境整備の取組



実施主体	島づくり推進協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	はしらじま 岩国市柱島地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> 人口：110人、世帯数：88世帯、高齢化率：78%（令和7年12月1日現在） 岩国市の南東部に位置しており、漁業が盛んな地域。 		
取組の背景	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少・高齢化の進行により島民による島内の環境維持が困難になりつつある。 今後も島の生活機能を維持し、住みよい環境を整備するため、島民自らの課題解決を目指しつつ、島の景観を観光資源として活用し、島外からの観光客や移住定住希望者の増加へつなげることが必要。 		
取組内容	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 協議会の体制や今後の活動を検討する話し合い活動を実施。 島の環境整備実施箇所を協議会で検討し、竹林、海岸道路及び一周農道、耕作放棄地等の島内の環境整備を協議会メンバーで実施する体制を整備。 耕作放棄地を利活用するために除草・整地を行い、サツマイモを栽培。 		
取組の成果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで各自で対応していた環境整備について、機械の導入などで高齢化した作業者の負担軽減を図り、協議会を主体とした実施体制へ移行することで継続性を高めた。 島内の主要道路の環境美化により、景観の維持や防災環境の整備等につながった。 荒廃が著しかった農地が作付け可能な状態に回復した。 耕作放棄地を減らすことでイノシシ被害対策になった。 		
今後の展開	<p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> 構築した体制を維持するため、現有メンバーより若い世代の新たな人材を育成。 収穫した作物を販売することにより、今後の活動運営維持につなげる。 		

- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



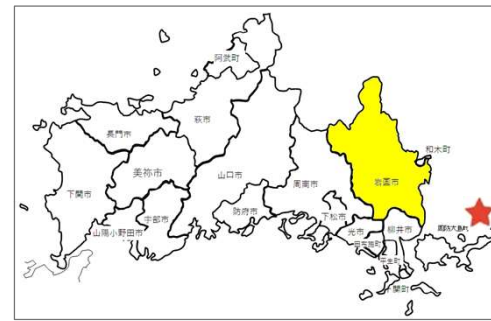
ポイント・工夫した点

- 地域における話し合い活動で課題を共有し、共同作業を通じて島民間の交流の機会を設けた。
- 島民が主体的に話し合いや作業を実施、課題解決に取り組むことで、持続可能な地域コミュニティの形成を推進。
- 整地した耕作放棄地に作物を栽培して活用することで、再荒廃化を防ぐことができる。

活用事業

令和2、3、4年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

22 ホームページ開設及びご当地ガチャ等を通じたPR強化の取組



実施主体	島づくり推進協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	はしらじま 岩国市柱島地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> 人口：110人、世帯数：88世帯、高齢化率：78%（令和7年12月1日現在） 岩国市の南東部に位置しており、漁業が盛んな地域。 		
取組の背景	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少・高齢化の進行により島民による島内の環境維持が困難になりつつある状況。 島の景観を観光資源として活用し、島外からの観光客や移住定住希望者の増加へつなげるための情報発信や、若年層を中心に島の認知度向上や来島のきっかけづくりが必要。 現在、柱島群島には土産物を販売する場所がなく、島を訪れた人たちが特産品（寒ひじき等）を気軽に購入することができないため、観光消費の拡大が課題。 		
取組内容	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規ホームページの開設 ご当地ガチャ及び無人販売機の設置 効果的な設置場所、缶バッチ・手ぬぐいのデザイン等検討 開設後の運用、話し合いに基づく運用改善 		
取組の成果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開設したホームページで柱島群島の情報を発信することで、交流人口の増加が図られた。 情報発信のために地域住民が地域の魅力を再確認し、文化保全活動が活発になった。 無人販売機の設置により、時間に関係なく土産物の購入が可能となり販路が拡大するとともに、地域にとって売り上げの増加が見込めるため、地域産業の振興に寄与した。 ご当地ガチャの設置をきっかけに、柱島群島を認知され、訪れる方が増加した。 		
今後の展開	<p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページ運営の協議を随時行い、掲載内容をより充実させ更新をしていく。 ご当地ガチャを県内外のイベントなどに出展し、柱島群島の認知拡大を図る。 		

- 分野
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



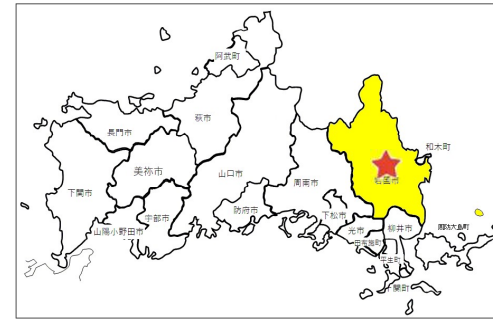
ポイント・工夫した点

- ホームページ開設を周知するため、フライヤーを作成し、市役所や定期船待合所などに掲示。
- 島の特産品だけでなく、これまでにない島の特色を活かしたお土産を作成・販売することで、柱島群島を訪れてもらうための仕掛けづくりを行った。

活用事業

令和5、6年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

23 北河内地域の魅力発信の取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業
令和3、4、5年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

実施主体

きたごうち
北河内未来塾

元気生活圏づくり推進方針

有・無

取組地域

きたごうち
岩国市北河内地域

地域の夢プラン

有・無

地域の概要

- ・人口：1,003人、世帯数：553世帯、高齢化率：54.4%（令和7年11月1日現在）
- ・錦川中流沿いで、周りを山に囲まれている。
- ・地域産業の中心は、古くから農業と林業。

取組の背景

【背景】

- ・過疎、高齢化の進行による農林業等の地域生産活動の停滞等が、集落機能の維持、存続や公益的機能の維持、保全を困難にしている。
- ・人口維持のため、地域住民が主体となった移住の取組や地域振興対策が必要と考えた。

取組内容

【取組内容】

- ・四季の魅力伝える空撮映像や地域行事の動画を作成し、ホームページ等で発信。
- ・地域内交流を深める活動（通学路を主とした地域内清掃や交流会等）を周知するため、地域住民へ「未来塾だより」を発行。
- ・地域の課題や魅力を発見するため、地域内の全世帯を対象としたアンケートを実施。

取組の成果

【成果】

- ・錦川清流線の動画の再生回数が思った以上に多く手ごたえが感じられ、動画により地域の魅力を効果的に発信できた。
- ・通学路の清掃や交流会の開催等により、コロナ禍で希薄化した地域内外のつながりを再構築し、世代間交流が広がった。
- ・広報誌やアンケート調査を通じて、北河内未来塾の活動が地域住民に周知された。
- ・アンケート結果を基にマスタープランを策定し、今後の活動方針を可視化した。

今後の展開

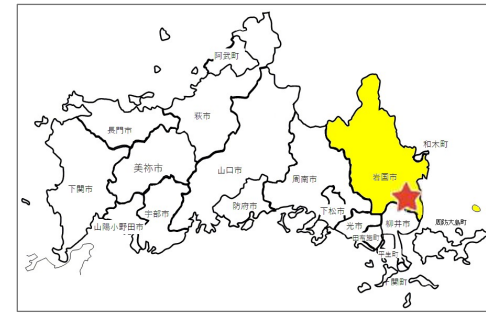
【今後の展開】

- ・通学路の清掃を定期的に行うなど活動内容を検討し、継続的な取組として定着を図る。
- ・地域住民へのアンケート結果を踏まえた北河内未来塾の活動の展開。

ポイント・工夫した点

- ・北河内地域の豊かな自然の魅力を知ってもらうため、季節ごとの空撮映像を作成した。
- ・地域内の全世帯へアンケート調査を行うに当たり、協議会を立ち上げ、地域の各団体を含めてアンケート内容を話し合っ実施した。

24 里山資源を生かした「なかくら里山再生プロジェクト」の取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業

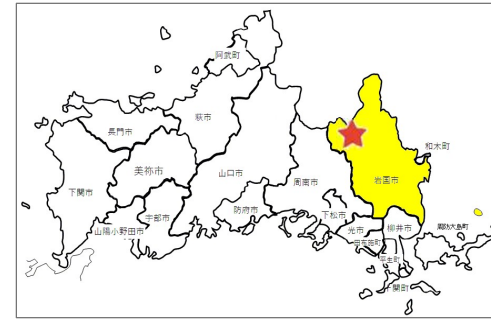
令和5、6年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

実施主体	なかくら里山再生プロジェクト	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	ゆうちょうゆせい なかくら 岩国市由宇町由西地域（中倉地区）	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：31人、世帯数：18世帯、高齢化率：61.3%（令和7年4月1日現在） ・岩国市南部に位置し、周りを山に囲まれている。 ・地域産業の中心は、古くから農業と林業。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中倉地区は、かつて50世帯を超える人々が暮らしていた「平家ゆかりの里山」集落で、人口減少や鳥獣被害の進行により、一時は消滅の危機に直面。 ・こうした状況を受け、耕作放棄地対策や支障木の伐採など地域の環境整備活動に取り組むとともに、地区内外の組織・個人と協働し「なかくら里山再生プロジェクト」を結成。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・錦帯橋空港を活用した首都圏からの集客を目的に、里山資源を活かした農林産物の収穫・食体験、薪割りや焚き火等の体験プログラムを実施し、地域住民との交流を図る体験型民泊事業を開始するとともに、活動の様子を動画で配信。 ・支障木を用いた薪割り体験や、その薪を燃料とする窯で調理した本格ピザの食体験等を通じて、次代を担う青少年をはじめとする幅広い世代の交流を促進。 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山体験を通じて地域の魅力を発信し、地域住民との交流による協力関係を構築。 ・地区内外の交流機会の創出や景観保全等の成果を生み出し、里山における新たなコミュニティ形成と持続可能な地域活動の展開につながっている。 <p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100年後も変わらない美しい里山の風景を次世代へ継承するため、里山整備、資源活用、里山利用の循環を促進し、子育て・教育、観光、産業、国際交流など、多岐にわたる活用の可能性を模索する。 		

ポイント・工夫した点

- ・情報の収集・整理に努め、日頃から顔の見える関係を築くため、企業や行政、各種団体、市内外の地域住民との信頼関係を構築。
- ・地域の魅力発信や関係者間の協力体制の形成を通じて事業拡大につなげた。

25 よさこい踊りとオオサンショウウオで地域を活性化する取組



実施主体	NPO法人ほつとにしき	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	にしき 岩国市錦地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> 人口：1,953人、世帯数：1,164世帯、高齢化率：62.9%（令和7年4月1日現在） 岩国市の北部に位置し、広島県や島根県と境を接しており、寂地峡や錦川などの自然環境に恵まれている。 主要産業は、こんにゃくやわさびの生産、加工、林業、観光業など。 		
取組の背景	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成13年から「にしきふるさとまつり」と同時開催している「よっちょれ！よさこい」には県内外からファンが集い、毎年ぎわっていることから、踊りで錦町の活性化を図る。 特別天然記念物のオオサンショウウオが宇佐川に生息しており、オオサンショウウオの保護を通じて環境保全の啓発、併せて地域活性化を図る。 		
取組内容	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰でも踊って元気になる「錦町よさこい総踊り」を製作し、多くの住民に踊ってもらえるようにレクチャービデオを作成。 オオサンショウウオへの興味と理解を深めてもらうため、かるたや触って学べる模型、生息環境を模したジオラマの作成・展示により、環境保全等の啓発活動を実施。 オオサンショウウオをモチーフとしたご当地ヒーロー「清流王者サラマダー」を制作し、各種イベントで子ども向けのショーを開催するなど、集客を図る取組を実施。 		
取組の成果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> よさこい総踊りは年齢を問わずに踊れるように製作したため、誰でもとっつきやすく、様々な機会に踊ってもらうことで元気を発信。 オオサンショウウオの生態を知ることによって環境保全活動への理解が進んだ。 キャラクターショーの開催により家族での訪問が増え、交流人口の増加が見込まれる。 		
今後の展開	<p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「よさこい」への新たな参加者の確保 オオサンショウウオを活用した地域の活性化 		

- 分野
- 生活機能の確保
 - 地域産業の振興
 - 交流福祉活動の促進
 - 生活交通の確保
 - 拠点の整備
 - 地域計画の検討



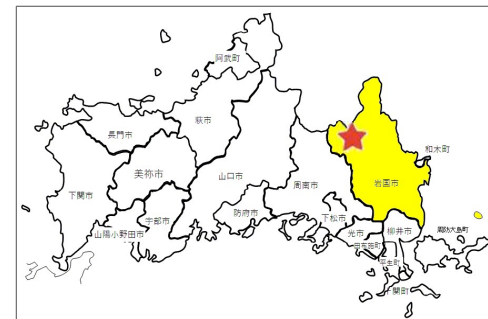
ポイント・工夫した点

- よさこいグループ（錦よさこい連盟）との連携。
- 地域内の各所でオオサンショウウオの模型を展示し、多くの人の目に触れるようにした。

活用事業

令和2、3、6年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

26 オオサンショウウオクッキーの販路拡大による地域経済活性化の取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業

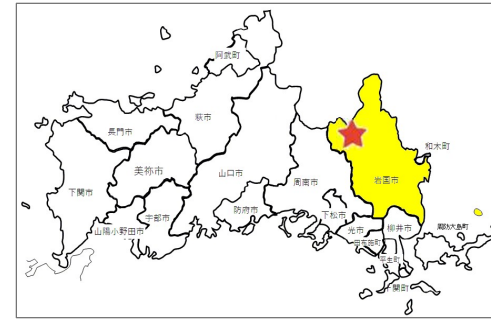
令和3、4、5年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

実施主体	やましろ地域特産品づくり協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	にしき 岩国市錦地域（関連：本郷町、美川町、美和町）	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：6,437人、世帯数：3,750世帯、高齢化率：59.0%（令和7年4月1日現在） ・岩国市北部に位置しており、関連の地域も含め、全域が中山間地域。 ※やましろ山代地域：本郷町、錦町、美川町、美和町 ・錦川とその支流の宇佐川は清流として有名。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山代地域には国の特別天然記念物のオオサンショウウオが生息し、県内最長の清流である錦川や山口県最高峰の寂地山など地域外へPRできる地域資源がある。 ・これらを積極的に地域外にPRし、観光客の増加や地域経済の活性化を図るため、オリジナルブランド商品の開発に向け「やましろ地域特産品づくり協議会」を立ち上げ。 ・令和2年度にオオサンショウウオをモチーフにしたクッキーを開発、商品化した。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞、ラジオ、SNS等を活用した商品PRの実施。 ・商工会のイベントにおける販売促進活動。 ・売り場での商品PRのため、販売店舗用の商品サンプル、のぼりを作成。 ・クッキーが割れにくい包装など商品パッケージの改善や消費者ニーズに沿った規格の検討。 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やましろブランド※」への登録認定。 ※山代で作られた製品の中から、特に味、コンセプト、独自性に優れたものとして認定されたもの ・新聞やラジオなどのメディア、SNS等を活用した情報発信により広範囲に周知。 ・来訪者だけでなく、地域住民にも地元の土産物として認められた。 <p>【今後の展開】</p> <p>消費者の声を聞き、商品改善することでリピーターの確保、事業の継続的な発展へつなげる。</p>		

ポイント・工夫した点

- ・地域イベントへ記念品等として贈呈を行い、地域住民へPRし、地元の土産物としての活用につなげた。
- ・メディアの活用やイベント出店により、商品と地域のPRを効率よく、広範囲に行った。

27 学生の滞在型研究活動と連携した観光・経済の活性化の取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業

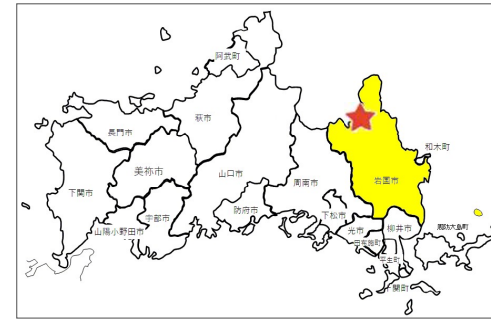
令和2、3、4年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

実施主体	にしきかわ 錦川観光協会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	にしき 岩国市錦地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：1,953人、世帯数：1,164世帯、高齢化率：62.9%（令和7年4月1日現在） ・岩国市の北部に位置し、広島県や島根県と境を接しており、寂地峡や錦川などの自然環境に恵まれている。 ・主要産業は、こんにゃくやわさびの生産、加工、林業、観光業など。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩国市錦町は、自然に恵まれた観光資源を有するものの、高齢化や人口減少、若年層の地域外への流出等により地域の活力が衰退している。 ・将来の地域の維持も懸念されるため、新たな観光資源の掘り起こしによる来訪者の増加や産業の育成が必要な状況。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光や建築、地形、地域活性化等を研究する大学生を受け入れ、フィールドワーク等を支援（観光資源としての棚田や地形、街並みなどの調査研究、棚田の再生、整備、古民家の補修などの実習、調査研究）。 ・調査研究の結果を踏まえた地域資源の活用方法を大学生から地域へ提案。 ・調査研究結果から出されたアイデアで実施可能なものについて、観光資源としての活用可能性を検証。 （移動式フォトフレームの設置による記念撮影スポットの創出） 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元住民の目線では想定できなかった地域資源の活用法が提案された。 ・観光や地域活性化につながるヒントを得ることができた。 <p>【今後の展開】</p> <p>提案のうち実施可能なものを新たな観光資源として掘り起こし、活用を検討。</p>		

ポイント・工夫した点

- ・学生を受け入れることにより、若い視点での提案となった。
- ・1年目に出されたアイデアは実際の活用場面で制約事項が多いものが目立ったことから、ワーキングの際に地元住民の意見等を取り入れ、実際に活用可能な提案内容となるよう工夫した。

28 神々の里沼田の地域資源を活かした活力創出の取組



実施主体	めだ 沼田ふれあい会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	にしき すがわうえめだ 岩国市錦地域（須川上沼田）	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> 人口：11人、世帯数：10世帯、高齢化率：100%（令和7年4月1日現在） 地形を利用し、棚田で米づくりを行っている。 		
取組の背景	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少、高齢化が進む中、集落の環境維持が困難になっており、地域内での共同作業等を通じて交流機会も設けていくことが必要な状況。 将来的な集落の存続、公演機会が減少している「上沼田神楽」（岩国市指定無形民俗文化財）の継承に寄与するため、営農の省力化、効率化を図りつつ、集落資源の発掘、発信に取り組み、人々が交流できる環境を整えることが必要。 		
取組内容	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地の解消に向け、草刈りや水路管理の省力化を図り、限られた人数で管理可能な体制を整備。 集落資源の洗い出し、看板の設置、棚田での参加型の農業体験（米づくり、茅刈り、棚田の石積み修復）の実施など、集落への来訪者増加に向けた取組。 上沼田神楽の周知・継承に向けて、公演の様子を動画配信。 		
取組の成果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 棚田を耕作するに当たって、農業体験として地域外の人材の参加を募ることで、地域の負担軽減を図りつつ、耕作放棄地になりかけていた棚田の復活、関係人口の創出につながった。 体験型プログラムと併せ、SNS等を活用して地域情報を発信する体制が整い、中山間地域における各種取組への理解増進に寄与した。 		
今後の展開	<p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> 棚田を活用した交流を進め、耕作放棄地の解消を目指す。 リピーターの確保と新規参加者の掘り起こしを進める。 		

- 分野**
- 生活機能の確保
 - 地域産業の振興
 - 交流福祉活動の促進
 - 生活交通の確保
 - 拠点の整備
 - 地域計画の検討



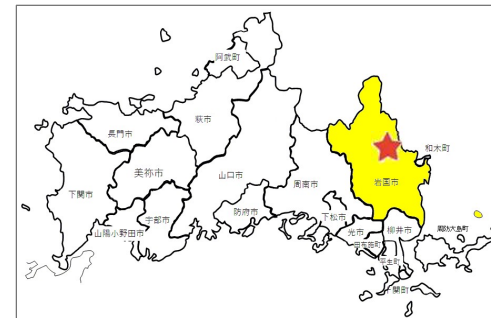
ポイント・工夫した点

- 地域住民の中には集落への来訪者の増加に不安を感じている人もいるため、防犯カメラの設置等の対策を行った。
- 体験イベントだけでなく、来訪者に神楽の演技を実際に見てもらった。

活用事業

令和2、3、5年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

29 下畑地区特産品販売強化事業の取組



実施主体	しもはた 下畑地区ふるさとづくり推進協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	みわまちしもはた 岩国市美和町下畑地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：141人、世帯数：94世帯、高齢化率：68.1%（令和7年11月1日現在） ・5つの自治会で構成されており、高齢化が進んでいる。 ・地域間交流拠点「下畑交流館」において、地元住民による「せせらぎ朝市」が運営されるとともに、令和3年度に地元野菜を朝食として提供する「キッチンせせらぎ」をオープン。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「下畑交流館」の施設内に開設される朝市コーナーの充実により、農産物の需要拡大や農業者の生産意欲向上につなげることを目指す。 ・新規事業として、地元産野菜を活用した飲食事業の開始を検討していた。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「せせらぎ朝市」オープンに向けた体制整備（案内看板設置や店舗内のレイアウト等）。 ・朝市において、餅つき大会やしいたけの駒打ち体験などのイベントを実施し、集客につなげている。 ・メニュー開発や販売体制の検討等を行い、朝市来訪者等への朝食を提供する「キッチンせせらぎ」をオープンした。 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝市において、地元農産物等の販売が可能になり、地域農産物の需要拡大、生産意欲の向上、耕作放棄地の発生防止につながった。 ・地域外からの集客が増え、関係人口が増加した。 ・交流館が地域コミュニティの場となり、利用率の向上と地域活性化に寄与した。 <p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝市及びキッチンせせらぎの運営継続。 ・定期的なイベント開催により、更なる集客を目指し、地域農産物の需要拡大や関係人口の増加、地域活性化を促進。 		

- 分野
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討

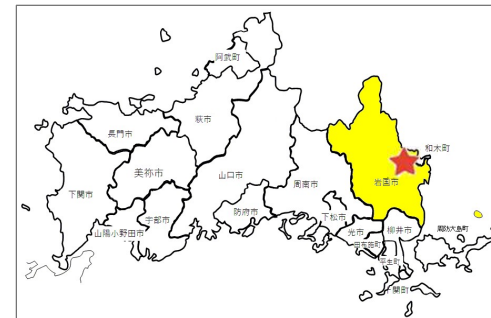


ポイント・工夫した点

- ・集客のため、宣伝効果の高い案内看板等を設置した。
- ・地域のファンを増やすことによる関係人口の増加を目的に、飲食事業への展開を図った。
- ・Instagramの投稿を通じて情報発信を行い、集客の増加を図った。

活用事業
令和元、2、4年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

30 紙漉き事業の取組



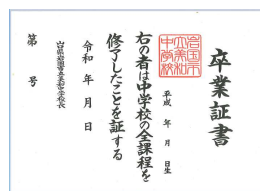
- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業

令和3、6年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

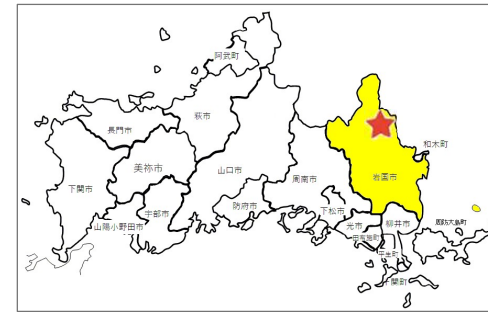
実施主体	ながたに 長谷みどりの会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	みわまちながたに 岩国市美和町長谷地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：147人、世帯数：84世帯、高齢化率：61.2%（令和7年11月1日現在） ・4つの自治会で構成されており、高齢化が進んでいる。 ・平成27年度より美和中学校と協働で手すき和紙の卒業証書づくりを行っている。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山代地区では、古くから楮や三椏を使った和紙づくりが盛んに行われていたが、近年は途絶えてしまっていた。 ・平成22年に美和中学校の生徒が三椏の植樹や散策道整備に取り組んだことを機に、三椏の植樹から紙漉きまでの全工程を中学校と協働し、卒業証書を作成する取組を実施。 ・この取組において、設備の関係から一部行程を地域外で行う必要があるため、地元住民の負担となっており、事業の継続や拡大に懸念があった。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内で和紙づくりの全工程を実施できる体制を構築 ・体験の受入拡大に向けて、卒業証書以外の製品が作成できる体制を整備 ・手すき和紙を使用した製品の商品化を図るための資材を導入 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業を通じた和紙づくりの伝統の継承。 ・地域内外との交流促進による地域活性化。 ・和紙づくり体験の受入拡大の体制が整い、和紙の生産量の増加につながった。 <p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験の受入拡充を図り、更なる地域外からの集客、交流人口の増加、交流館の利用率向上を目指す。 ・和紙製品が地域産業の一環となるように商品を充実させ、販売促進を図る。 		



ポイント・工夫した点

- ・和紙づくりの専用機材は高価であるため、家電等で代用することで地域内で全工程を完結できる体制とした。
- ・長谷和紙の紹介カードを作成し、和紙づくりの魅力を発信した。

31 地域の魅力発信及び伝統文化体験を通じた交流促進の取組



実施主体	あきがけ 秋掛地区ふるさとづくり推進協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	みわまちあきがけ 岩国市美和町秋掛地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：168人、世帯数：111世帯、高齢化率：71.0%（令和7年6月1日現在） ・旧美和町の北部に位置する。 ・秋掛太鼓のほか、史跡など多くの伝統や文化が残っている。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化や人口減少などの理由から、秋掛地区の伝統や文化、歴史に関する活動の維持が難しくなっている。 ・秋掛地域の魅力を再確認し地域全体でできることから取り組むとともに、内外との交流を通じて活性化につなげる取組を検討。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋掛地域紹介パンフレット作成、案内板設置 ・秋掛太鼓継承（小学生との体験交流）、太鼓を使った体操教室 ・竹細工体験教室 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットの作成等により秋掛地域の魅力を発信したことで、地域外からの訪問者が増え、交流人口の増加につながった。 ・地域の伝統文化を学ぶ体験教室において、小学生や保護者から、今後も地域の伝統を守り引き継いでいきたい等の意欲的な声が寄せられるなど、伝統文化への理解と継承意識の醸成が図られるとともに、世代間交流が促進された。 <p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Instagramなどを活用し、さらなる地域外からの集客を図り、交流人口や関係人口の増加を目指す。 		

- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



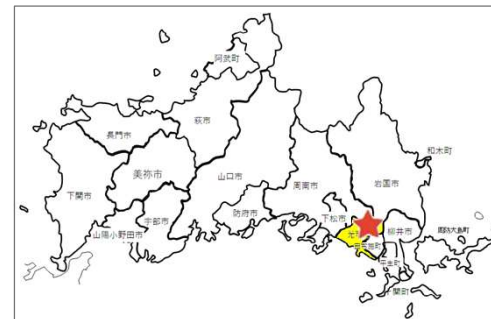
ポイント・工夫した点

- ・プロジェクトメンバーを中心に、少しずつ地域の方を巻き込みながら活動。
- ・旧秋掛小学校を地域住民が集い交流する場として利活用し、定期的なイベントや行事、話し合い活動を促進。
- ・若い世代に地域の伝統を体感してもらうため、小学校と連携して取組を実施。

活用事業

令和6年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

32 空き家活用による拠点創出の取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業

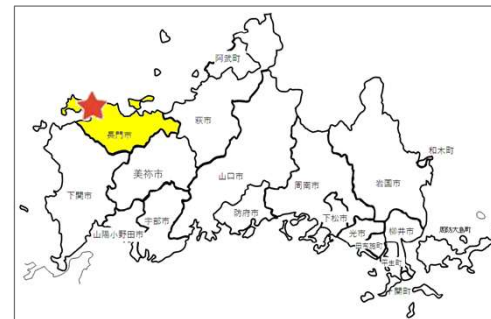
令和2年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

実施主体	つかり 束荷コミュニティ協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	つかり 光市束荷地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：603人、世帯数：293世帯、高齢化率：51.7%（令和7年11月末現在） ・光市の内陸部北部に位置する。 ・農業が産業の中心で、主に稲作とイチゴの生産が盛んな地域。 		
取組の背景	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内に空き家が増加し、その活用策を検討する必要があった。 ・これらの活用策として、地域の交流や産業活動等の拠点の創出等を検討。 ・交流人口の増加を図り、地域の魅力向上を図りたいと考えていた。 		
取組内容	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流施設としての活用、イベント等で活用できるよう空き家の清掃、修繕を実施。 ・増加傾向にある空き家を地域資源として捉え、空き家に隣接する農地での都市部の幼稚園児の農業体験、空き家でのランタン作成ワークショップなど、整備した空き家を活用してイベントを実施。 		
取組の成果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の清掃、修繕により交流拠点として整備することができたが、住民の空き家活用の意識はまだ低い。 ・イベントの実施により都市部や地域外の住民との新たな「つながり」を創出することができた。 		
今後の展開	<p>【今後の展開】</p> <p>イベントによりできた「つながり」を活用し、地域を知ってもらう機会を創出する。</p>		

ポイント・工夫した点

- ・定期的に役員等が集まり、活動結果の振り返りや改善策の検討を行い、課題等の共有を図った。
- ・空き家の清掃、修繕を行うに当たり、事前に役員等でアイデアを持ち寄り、整備後の利用方法等を十分に検討した上で修繕等に取り組むことで方向性を共有。
- ・屋外を中心としたイベントの実施や人数を減らすなど、コロナ禍でも感染症対策を行うことで実施可能な内容とした。

33 棚田米を活用した商品開発の取組



実施主体	NPO法人ゆや棚田景観保存会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	長門市宇津賀地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> 人口：557人、世帯数：329世帯、高齢化率：69.3%（令和7年11月30日現在） 長門市の北西部に位置し、北側は日本海、南側は油谷湾に面している。 一次産業が地域の主要産業で、棚田で作られる米をはじめとした農業や「長州ながと和牛」などの畜産業、日本海の豊富な水産資源を背景とした漁業が中心となっている。 		
取組の背景	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> 棚田百選にも指定されている棚田は、所有者の高齢化により耕作放棄地が広がりつつある。 耕作放棄地が拡大すると地域の景観が一変するため、棚田保全のために新たな担い手や新たな手法を検討する必要性が生じた。 		
取組内容	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 棚田米を原料とした米粉の安定生産、安定供給できる体制づくり 耕作放棄地にハーブ等の花を植える「花田観光地」化 ハーブを活用した商品開発、乳幼児向け離乳食としての米粉活用の提案・PR HPをリニューアルし、棚田米やハーブ等の商品のオンライン販売システムを導入 		
取組の成果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品価値が低い小米を米粉に加工することにより、「棚田ビスコッティ」などの加工原料として安定した販路を確保し、小米の商品価値が向上。 耕作放棄地だった棚田の景観が改善され、「棚田の花段」として観光客が増加し、棚田全体の交流人口が増加。 		
今後の展開	<p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> 米粉やハーブ等を使った加工食品を開発し、カフェや食堂、雑貨店など多種類の事業展開につなげ、新規ビジネスの立ち上げを検討。 HPによる情報発信を効果的に活用し、移住、定住による人口増加や新規就農者の確保など地域の活力向上につなげる。 		

- 分野
- 生活機能の確保
 - 地域産業の振興
 - 交流福祉活動の促進
 - 生活交通の確保
 - 拠点の整備
 - 地域計画の検討



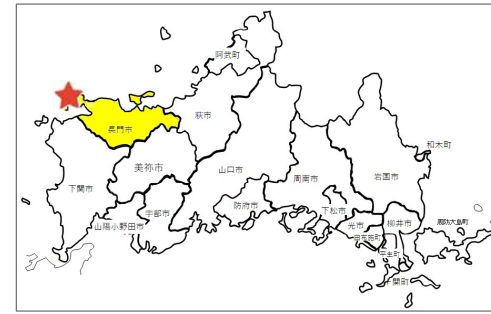
ポイント・工夫した点

- 棚田米の副産物である小米を米粉に加工することで、付加価値を付けた。
- 再生した棚田の新たな活用策としてハーブを栽培。
- 棚田広場（棚田の花段）にハンモックなどを設置し、フォトジェニックな風景を演出。

活用事業

令和2、3、4年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

34 歴史文化資源のデジタル化と体験交流による地域活性化の取組



実施主体	むかつ国で遊ぼう協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	むかつく 長門市向津具地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> 人口：923人、世帯数：556世帯、高齢化率：62.5%（令和7年11月30日現在） 本州最西北端の向津具半島に位置し、北側は日本海に、南側は油谷湾に面している。 棚田状の水田での稲作や「長州ながと和牛」などの畜産業のほか、豊富な水産資源を生かした漁業が行われている。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> 少子化や人口減少が進行し、保育園の統合や中学校の廃校、商店の減少、公共交通機関の減便・撤退などにより、地域の活気や生活利便性が低下。 耕作放棄地の増加等によりふるさとへの帰郷の思いや愛着が薄れることで、ますます人口減少が加速し、地域力や集落機能の低下が加速する負のスパイラルが生じている。 こうした課題に対応するため、農泊の推進を通じた地域外との交流拡大や移住促進に関する取組を進めている。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> アーカイブ化したデジタルコンテンツ活用のための冊子の制作 遊休地活用型体験交流施設の整備 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 未来に向けた記録をデジタル化し保存することで、コンテンツ活用が容易になった。 地域産食材を使って調理・飲食ができる体験交流施設を整備したことにより、地域内外の人々が訪れるスポットとして活用され、交流の促進につながった。 <p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地を生かした農業体験ツアーなどを進めるとともに、廃屋を活用した古民家再生プログラムを開発し、さらなる移住・定住促進を目指す。 		

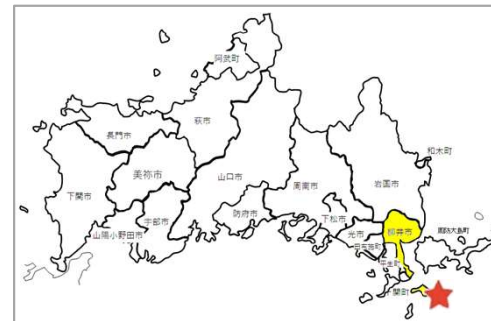
- 分野
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業
令和4、5年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

ポイント・工夫した点
デジタルアーカイブを構築していくプロセスにおいて、地域住民間あるいは住民と地域諸機関との間でコミュニケーションや協働の機会を形成した。

35 島旅の企画・運営を通じた交流促進の取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業

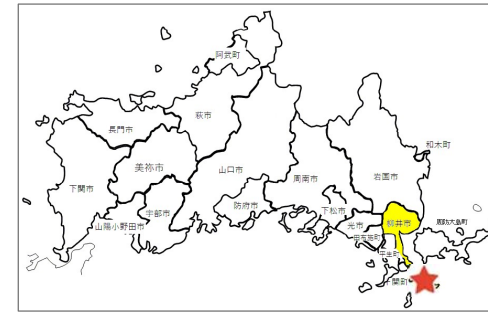
令和4、5、6年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

実施主体	へいぐんひがし 平郡東島おこし推進協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	へいぐんひがし 柳井市平郡東地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：136人、世帯数：99世帯、高齢化率：68.4%（令和7年3月31日現在） ・柳井市の南約20kmの伊予灘に浮かぶ東西に細長い平郡島の東部に位置する。 ・瀬戸内海の温暖な気候により、温州ミカンの栽培が盛んで、耕作地の約半分が柑橘類。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率が非常に高く、未成年者はわずか2人で、少子高齢化が顕著。 ・近年は釣り客も減少傾向にあり、島の唯一の生活航路である平郡航路の利用者も年々減少し、この状況が続けば航路の維持も危ぶまれる。 ・一方で、美しい景色や豊富な海の幸などの環境に恵まれ、マリトレジャーや登山も楽しむことができるが、島の魅力はあまり知られていない。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島外との交流促進を目的に、「島女子旅の企画立案」をテーマとしたオンラインイベントを開催。 ・島外の女性と協働で作成した旅プランを基にモニターツアーを実施し、参加者の体験や感じたことを、女子旅を通じた島の魅力としてSNSで発信。 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインを活用した交流の仕組みを構築することで、都市住民との交流活動を継続的に行うことができた。 ・女子旅プランを作成する過程で、島民とイベント参加者の交流が深まった。 ・参加者が今後も地域との関係性を持つことにより、関係人口の増加につながった。 ・イベントを通じて平郡島への関心が高まり、島の魅力や課題を洗い出すことができた。 <p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係人口の創出と移住の促進 ・来島を考えている人や移住を検討している人との交流 		

ポイント・工夫した点

壮年世代を中心とした活動を展開することにより、地域活動への参画を促し、次世代の担い手を育成。

36 島の魅力を伝え、島内外を含めた交流を活性化する取組



実施主体	へいぐんにし 平郡西地区コミュニティ協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	へいぐんにし 柳井市平郡西地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> 人口：73人、世帯数：61世帯、高齢化率：91.8%（令和7年3月31日現在） 柳井市の南約20kmの伊予灘に浮かぶ東西に細長い平郡島の西部に位置する。 かつては漁業・農業が盛んであったが、現在は高齢化や担い手不足により衰退している。 		
取組の背景	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> 42歳以下の島民がいない状況下で高齢化が著しく進行し人口減少に歯止めが効かない中、地域の活力維持や関係人口の創出に向け新たな交流手法の導入が求められていた。 高齢者を中心とした買い物環境の不便さや、コロナ禍を機に地域内交流の場が減少したことにより、生活利便性の向上とコミュニティの活性化が課題となっていた。 		
取組内容	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の魅力を一元的に発信するため、地域情報を集約したホームページを作成するとともに、歴史文化や観光資源を紹介するリーフレット及び冊子を制作。 ICTを活用したイベント運営体制を構築し、オンラインによる歴史講演会やフォトコンテストを開催。 買い物弱者対策として総菜注文システム導入の可能性を検討するため、地域住民が集うコミュニティカフェを開催し、試食を通じた検証を実施。 		
取組の成果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページやリーフレット等の作成により情報発信力が強化され、来島者の増加や関係人口の獲得につなげることができた。 イベントのオンライン開催により、全国の平郡島出身者や歴史文化に関心を持つ島外者の参加が可能となり、来島のきっかけを創出した。 民間の商店を通じて、週1回、本土側のお弁当や総菜を注文できるシステムを確立。 		
今後の展開	<p>【今後の展開】</p> <p>地域に根差した取組の実施や新たな担い手の確保。</p>		

- 分野
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



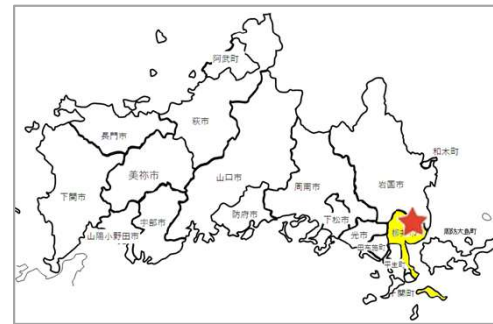
活用事業

令和4、5、6年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

ポイント・工夫した点

リーフレット等の作成に多くの島民が関わることで、住民間の交流が促進され活動への意欲が高まるなど、島民の活力向上につながった。

37 情報発信の強化による交流・地域資源活用促進の取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業

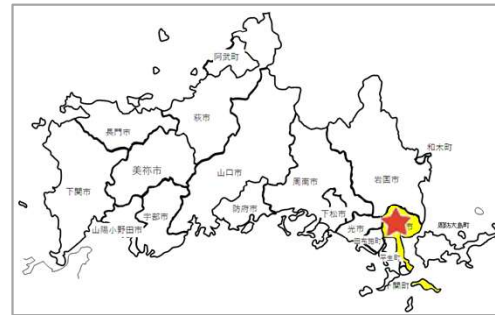
令和4、5年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

実施主体	ひづみ 日積地区コミュニティ協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	ひづみ 柳井市日積地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：1,173人、世帯数：683世帯、高齢化率：58.7%（令和7年3月31日現在） ・33集落のうち、小規模・高齢化集落が13集落。 ・主な産業は農業で、米を中心にブドウ、露地野菜、施設野菜などの生産が行われている。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名所・史跡、伝統文化など様々な魅力的な資源を有する一方、人口減少、高齢化の進行により生活機能の低下が著しい。 ・協議会では平成21年2月に夢プランを策定し、都市農村交流施設「ふれあいどころ437」を拠点とし、産業振興を兼ねた地域外からの来訪者との交流を図っている。 ・これらの活動は農産加工品の販売増加や新規就農、移住等で一定の成果を上げているが、都市農山村交流及び地域資源活用を柱とした活動をより一層進めることが課題。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の史跡等の資料をデジタル化し、史跡巡り等のイベントや勉強会を開催。 ・各史跡に石の標柱を建立し、その場でQRコードから情報が得られる仕組みを構築。 ・「ふれあいどころ437」に設置された「麒麟の工事現場」像の周辺をインスタ映えスポットとして整備。 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古くから受け継がれてきた資料のデジタル化により、いつでもどこでも閲覧が可能となった。 ・史跡巡り等に子どもたちや住民が参加することで、郷土愛の醸成を図ることができた。 ・交流拠点のインスタ映えスポットとしてSNS等で情報発信することにより、訪問客の増加が期待でき、相乗効果で都市農村交流の増加、地域産業の振興につながった。 <p>【今後の展開】</p> <p>地域資源を活用した取組の継続、新たな担い手の確保</p>		

ポイント・工夫した点

- ・役割分担を明確にし、進捗状況の確認のため、定期的に会合を行った。
- ・地域資産を地域の成長に活用し、次世代に継承するため、デジタル技術と組み合わせ、「ふれあいどころ437」を起点として情報発信。

38 夢プラン始動に向けた取組



実施主体	りゅうほく 柳北地区コミュニティ協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	りゅうほく 柳井市柳北地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> 人口：1,728人、世帯数：868世帯、高齢化率：40.7%（令和7年3月31日現在） 柳井市の中心市街地から北に約3kmの山麓に位置する。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近年、高齢化により担い手不足の自治会が解散するなど地域の基礎となる地縁的基盤が揺らぐ事態が発生。 住民アンケートで、地域活動に対する認知度・参加者割合が極めて低いとの結果が示され、地域活力の衰退、地域のつながりの希薄化といった問題点が明らかになった。 これらの状況を踏まえ、地域の有志による意見交換会を経て、令和2年3月に地域の夢プランを策定。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 夢プランの実践母体として設置する「夢プラン推進会議」のあり方や、同会議を通じた活動の展開方法について、専門家を招聘して検討。 コロナ禍により、これまで当たり前に行っていた地域活動の実施が困難となる状況の中、現状を踏まえた地域活動のあり方を話し合うため、地域の小規模な集まりを開催。 専門家から、地域づくりにおけるICT活用の事例や可能性について助言。 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍における地域の思いを整理し、地区の今や今後について納得感を持ちながら話し合うことができた。 夢プランで描いた新たな取組の第1弾として、「桜の郷プロジェクト」の開催が決定する等、コロナ禍でありながらも、皆の思いを形にしていく活動を行うことができた。 <p>【今後の展開】</p> <p>夢プランを推進するため、地域内の担い手人材発掘など共同体制を構築する。</p>		

- 分野
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



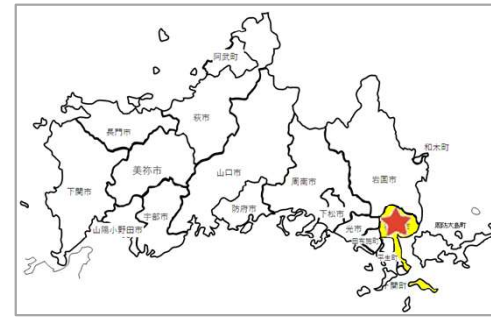
ポイント・工夫した点

地区の課題の改善につながるよう、県内外の取組事例だけでなく、柳北地区で実現するための導入方法等について専門家から助言を受けた。

活用事業

令和2、3年度
やまぐち元気生活圏づくり協働支援事業（専門家派遣事業）

39 夢プランの実現に向けた地域活動活性化の取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



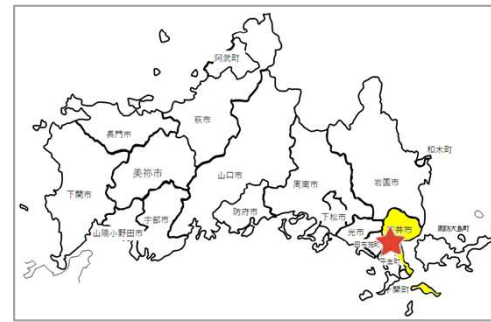
活用事業
令和4、5年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

実施主体	りゅうほく 柳北地区コミュニティ協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	りゅうほく 柳井市柳北地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：1,728人、世帯数：868世帯、高齢化率：40.7%（令和7年3月31日現在） ・柳井市の中心市街地から北に約3kmの山麓に位置する。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民アンケートで、地域活動に対する認知度・参加者割合が極めて低いとの結果が示され、地域活力の衰退、地域の繋がりの希薄化といった問題点が明らかになった。 ・夢プランの実現に向けて「桜の郷プロジェクト」や「新たな情報連携の構築」に取り組む中で、壮年世代の地域活動への参加を希望する声も少しずつだが出始めている。 ・地域活動の基盤整備やコミュニティ協議会の活動のPRなどを行うことで、地域活動への意識向上及び新たな地域活力の発掘を目指す。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の年間計画や夢プランの将来目標を掲載した回覧板の作成、ロゴデザインの製作 ・地域内の通学路や耕作放棄地の周辺部等の環境整備活動 ・地域の魅力や協議会の活動をPRするリーフレット等の作成・配布 ・次世代の担い手発掘方法の検討 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回覧板やリーフレット等を用いて幅広く周知することで、地域活動に新規で参加する人が増え、地域活動に対する理解が広まった。 ・耕作放棄や管理者不在などの理由により、日常生活に影響が出ていた荒廃地の解消が図られた。 <p>【今後の展開】 夢プランを推進するため、地域内の担い手人材発掘など共同体制を構築する。</p>		

ポイント・工夫した点

- ・地域活動等について多くの住民の理解を得るため、回覧板による周知を行った。
- ・環境整備活動実施に当たり、事前に草刈機等駆動式工具の操作方法や安全利用の講習会を実施した。

40 夢プラン策定に向けた取組



実施主体	しんじょう 新庄地区コミュニティ協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	しんじょう 柳井市新庄地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：4,111人、世帯数：2,041世帯、高齢化率：37.8%（令和7年10月31日現在） ・44集落のうち、小規模・高齢化集落が1集落。 ・中心市街地に隣接する地区で、市民が集う交流施設等がある。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民間の交流が活発ではなく、連帯意識が低いため、次世代を担う世代との関係が希薄で、後継者世代の人材育成が不足。 ・協議会役員であっても構成団体の活動内容や実態を把握できておらず、地域課題の洗い出しなども困難な状況であり、夢プラン策定に向けた活動を通じて住民間の関係性の構築を図る必要。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家による人口データ等からの地域の現状分析、他地域の事例を交えた夢プラン策定に向けた活動の取組方法の指導。 ・新庄地区夢プラン策定に向けた住民アンケートの実施方法検討及び実施、結果の分析と共有。 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢プラン策定に向けた全体スケジュールの決定、協議会の所属団体等への個別ヒアリングを行うことができた。 ・地域課題を整理するためのプロセスやアンケートの目的、実施方法を整理することができ、地域で方針が共有された。 <p>【今後の展開】</p> <p>夢プランの実践</p>		

- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



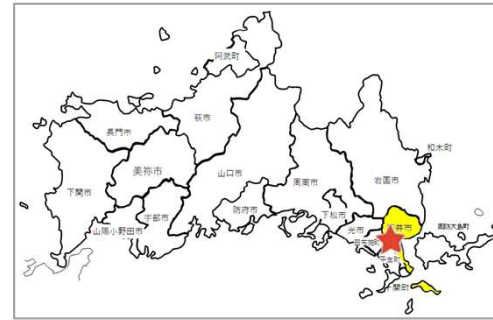
ポイント・工夫した点

住民間の関係性が希薄であるという地域の現状を踏まえ、協議会役員がそれぞれの所属団体の個別ヒアリングを行うことから取組を開始した。

活用事業

令和2、3年度
やまぐち元気生活圏づくり協働支援事業（専門家派遣事業）

41 夢プラン実現に向けた「新庄未来10咲事業」の取組



実施主体	しんじょう 新庄地区コミュニティ協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	しんじょう 柳井市新庄地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> 人口：4,111人、世帯数：2,041世帯、高齢化率：37.8%（令和7年10月31日現在） 44集落のうち、小規模・高齢化集落が1集落。 中心市街地に隣接する地区で、市民が集う交流施設等がある。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新庄地区は中心市街地に隣接し、新興住宅地に若者世代の転入者も多く、新旧住民の交流や地域活動への関心が低いという課題を抱える。 夢プラン作成時の住民アンケート調査等から見えてきた重要な10の思いを「未来10咲」として位置づけており、その認知度を向上するためのPRが必要。 これを踏まえ、地域内でICT活用等による情報発信を行い、課題解決に向けた実行体制の構築を図ることとした。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 魅力情報発信誌の作成・配布（夢プランの周知と地域内情報等の掲載） 冊子へのQRコード掲載やInstagramの開設等による情報のプラットフォーム化 新庄地区偉人看板の設置 地区住民が多く集まるイベントで夢プランPR法被を着用し、地域づくり活動をPR 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全世帯への冊子配布や事業所等への設置により、夢プランの認識が深まった。 地域づくり活動のPRを行うことで地域内連携が促進され、実行委員会による活動への理解が促進された。 偉人看板を史跡地に設置することで、地元住民の認識を深めることができた。 <p>【今後の展開】</p> <p>活動に賛同してくれた地区住民を実行委員として取り入れることにより、これからの活動に必要な人材をさらに確保し、地域一体での取り組みを推進していく。</p>		

- 分野
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



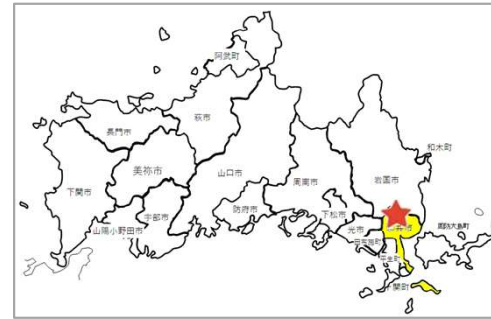
ポイント・工夫した点

- 魅力情報誌に掲載した地域の年間行事表に各イベントのQRコードを掲載することで、冊子には載せきれない情報をInstagramで閲覧することができるように工夫。
- 冊子は手に取ってもらうことを重視して正方形とし、表紙に色鮮やかなロゴを配置した。

活用事業

令和6年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

42 直売所の販売力強化とICT活用で地域活性化する取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業

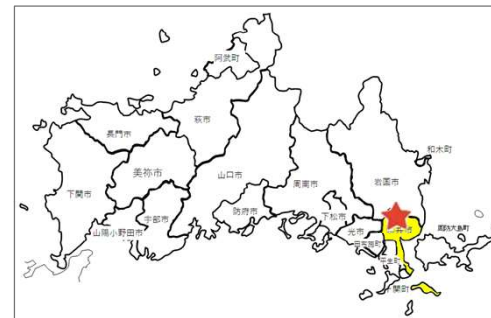
令和2、3年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

実施主体	いかち 伊陸地区コミュニティ協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	いかち 柳井市伊陸地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：1,328人、世帯数：725世帯、高齢化率：52.8%（令和7年3月31日現在） ・22集落のうち、小規模・高齢化集落が6集落。 ・柳井市の北部に位置し、市最高峰の氷室岳（標高562m）の麓に広がるのどかな田園地帯。 ・稲作を中心とした農業が盛んで、伊陸米は県内でも高い評価を得ており、人気の特産品。 		
取組の背景	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業従事者の減少や高齢化等に伴い、伊陸米のブランド力や販売力の低下が著しい。 ・少子高齢化に伴う地域活動の停滞、高齢者世帯の増加、交通や買い物弱者の発生など多様な地域課題が発生している。 		
取組内容	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内の農産物直売所の販売力強化に向けた環境整備（开店時間の統一、目玉商品の開発等）。 ・SNSを活用した地域内の情報伝達体制の構築。 ・伝統行事関係のデジタルデータ化、空き家情報のクラウドによる共有など地域活動へのICT活用。 		
取組の成果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内の直売所の環境整備を行うことで、全体の顧客や売上が増加し、運営維持、向上につながった。 ・地域の若年層を中心に地域運営機能の維持、向上を目的としたワーキンググループ会議を行うことで、地域活動におけるICT活用が進んだ。 		
今後の展開	<p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区住民及び農業従事者が一丸となった相乗効果の高い、農産物のPR活動を展開する。 ・SNS等の活用により、緊急時の連絡体制構築、地域活動の活性化・円滑化を図る。 ・ICT分野に先見性を有する人材や地域の若年層の参画を促す。 		

ポイント・工夫した点

- ・地域内の直売所すべての开店時間を年間を通じて統一するなど、足並みをそろえることで全体の顧客拡大等につなげた。
- ・若年層を中心としたワーキンググループを設置し、若者の地域活動への参画を促した。

43 情報発信力の強化と高齢者を対象としたICT普及促進の取組



実施主体	いかち 伊陸地区コミュニティ協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	いかち 柳井市伊陸地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> 人口：1,328人、世帯数：725世帯、高齢化率：52.8%（令和7年3月31日現在） 22集落のうち、小規模・高齢化集落が6集落。 柳井市の北部に位置し、市最高峰の氷室岳（標高562m）の麓に広がるのどかな田園地帯。 稲作を中心とした農業が盛んで、伊陸米は県内でも高い評価を得ており、人気の特産品。 		
取組の背景	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化に伴う地域活動の停滞、高齢者世帯の増加、交通や買い物弱者の発生など多様な地域課題が発生している。 		
取組内容	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> PR動画の制作、動画コンテストの開催、看板設置など、地区の魅力を多様な手法で発信。 動画制作講座の開催や機材整備により、住民自ら動画を作成・発信できる体制を構築。 地区公式LINEの普及活動や高齢者向けICT講座を開催。 デマンド交通「いかち まいか号」の利用方法周知及び利用者登録の勧奨。 ホームページを通じて、地域の名物（米・神楽等）を地域内外に広く発信。 		
取組の成果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報発信力の強化により地区の認知度が向上し、特産品の販売増加等につながった。 地区公式LINEの導入で高齢者がICTに触れるきっかけをつくり、行事への参加促進や災害時・緊急時の情報伝達体制が強化された。 デマンド交通の円滑な導入が実現し、高齢者の移動手段が確保された。 名物のPRにより地域の魅力が再認識され、活動する高齢者の励みになるとともに世代間交流の促進につながった。 		
今後の展開	<p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した情報発信の内容を充実させる。 地域住民のコミュニティ活動への理解や参加を促進する。 地域活動の活性化のために子育て世代や若者の参画を進める。 		

- 分野
- 生活機能の確保
 - 地域産業の振興
 - 交流福祉活動の促進
 - 生活交通の確保
 - 拠点の整備
 - 地域計画の検討



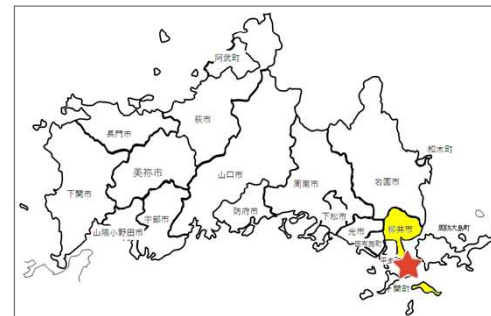
ポイント・工夫した点

- ホームページやLINEによる情報発信で、コミュニティ協議会活動の周知や参加促進を図った。
- 高齢者が情報にアクセスしやすいよう、LINEなどの使用方法を習得する講座を開催。

活用事業

令和4、5、6年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

44 特産品「せとみ」を活用した産業振興及びPR強化の取組



実施主体	あつき 阿月地区コミュニティ協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	あつき 柳井市阿月地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> 人口：572人、世帯数：331世帯、高齢化率：60.3%（令和7年3月31日現在） 柳井市の南部に位置する。 古くから水産業や農業が盛んで、みかんの産地として有名。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少や高齢化により生活機能の低下が著しく進むとともに、農業分野においては従事者が減少傾向にあり、特産である柑橘類生産の人手の確保が困難な状況。 柑橘「せとみ」を利用した特産品づくりを進めているが、PR強化及びブランド化が課題。 また、地域内には重要無形民俗文化財である阿月神明祭をはじめ多くの史跡があり、これらも含めた地域資源について情報発信を強化し、阿月地区来訪の契機を高める。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区の伝統文化や特産品「せとみ」等の地域資源を幅広く効率的に発信していくため、阿月地区の情報を配信するホームページを作成。 地場産業を活用し交流人口の増加を図る取組として、「せとみの樹オーナー制度」を開始。 「せとみ」を活用した加工品の試作を行い、日曜朝市等で試験販売を実施。 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民と農業従事者が協力して柑橘に携わることで、ブランド化に向けた機運が醸成された。 「せとみの樹オーナー制度」を通じて新たな交流が生まれ、特産品への関心が高まった。 <p>【今後の展開】</p> <p>「せとみの樹オーナー制度」を利用して地区内外の交流人口の増加を図りながら、新規就農者の確保に努める。</p>		

- 分野
- 生活機能の確保
 - 地域産業の振興
 - 交流福祉活動の促進
 - 生活交通の確保
 - 拠点の整備
 - 地域計画の検討



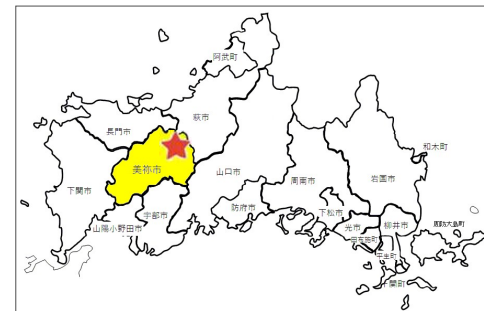
ポイント・工夫した点

- 特産品振興における生産者（農業従事者）との連携。
- 地域の維持・活性化に向けた重要なツールとなる地域資源をデジタルデータとして保存し、次世代へ継承していくための基盤とした。

活用事業

令和2、3、4、5年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

45 特産品の開発・販売促進に向けた取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



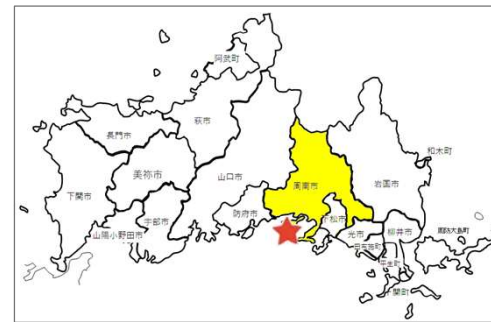
活用事業
令和4、5、6年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

実施主体	一般社団法人ドリームレッド	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	あかごう 美祢市赤郷地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：610人、世帯数：313世帯、高齢化率：56.5%（令和7年11月末現在） ・美祢市北東部、日本最大級のカルスト台地「秋吉台」の麓に位置。 ・農業が中心の地域であり、地域ブランド「美東ごぼう」が有名。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみで現状や課題を共有し、目指すべき将来像が見える化した「赤郷夢プラン」を策定。 ・夢プランに基づき、地域自らが課題の解決に向けて持続的かつ安定的に取り組むためには、地域運営に経営の視点を取り入れ、収益事業を確立する必要性があった。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化支援施設「ながとラボ」で試作を重ね、新たな特産品（美東ごぼう茶、熟成黒にんにく、美東ごぼう入りスイーツ）を開発。 ・直売市や無人市、商店、観光施設（秋吉台サファリランド、別府弁天池等）で販売のほか、美祢市のふるさと納税返礼品に登録。 ・主催する直売市（赤郷ええとこ市）では、iPadを使用した商品管理・販売、自動集計による売上分析などデジタル技術を導入。 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドリームレッドの収益増加だけでなく、原材料生産者や製造従事者の所得が向上。 ・夢プランの実践による住民間の交流の促進、一体感の醸成。 ・デジタル技術の導入による事務の効率化。 <p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな販売先の開拓、販路拡大 ・デジタルプロモーションの展開（PR動画の制作） 		

ポイント・工夫した点

- ・「ながとラボ」で試作後、地元施設（赤郷交流センター）で営業許可を取得し本格生産へ移行。
- ・経営に関する専門家からの助言・指導が効果的（県地域経営力向上プロジェクト推進事業）。
- ・集落支援員の協力体制を構築。

46 大津島における生活支援サービスの創出に向けた取組



実施主体	おおづしま 大津島地区コミュニティ推進協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	おおづしま 周南市大津島地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> 人口：170人、世帯数：132世帯、高齢化率：77.1%（令和7年3月31日現在） 離島という条件不利地であるとともに、人口減少に加えて周南市内で最も高齢化が進展している。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少、少子高齢化の進行に伴い、「安心、安全、身近な暮らしの維持・確保」や「地域を支える人材の確保」、「地域資源を活用した経済循環の仕組みづくり」が求められている。 課題解決に向けて地域住民による取組だけでなく、出身者や民間事業者、関係団体など、多様な主体の連携による地域運営の仕組みの構築が必要となっている。 <p>【取組内容】</p> <p>地域住民や出身者の会との連携により、生活サービスの提供や困りごとの相談・対応、地域活動の支援などを行う「生活支援サービスセンター：しまさぼ」を開設、運営。</p>		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <p>住居の環境整備や生活の相談、困りごとへの対応などのサービスを試験的に提供しながら、持続可能な仕組みや実施体制の構築に取り組み、本格運営に向けた体制を整備。</p> <ul style="list-style-type: none"> 出身者3名の職員のうち、週2回最低1名が勤務する体制を整えることにより、住民がいつでも相談できる体制を構築。 高齢者だけでは対応できない作業や困りごとに対応することにより、快適な住環境の確保を実現。 <p>【今後の展開】</p> <p>関係機関と連携し、移動販売車での買い物のサポートや配食サービス、家事支援など、生活や福祉に関する対応ができる体制を更に強化することにより、より一層の生活サービスの充実を目指す。</p>		

- 分野
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



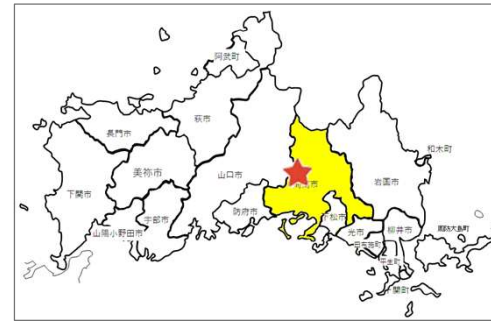
ポイント・工夫した点

- ・ 地域住民だけでなく、出身者等の関係人口と連携することで持続可能な体制づくりにつなげている。
- ・ アンケート調査やヒアリング等によりニーズを把握している。

活用事業

令和3年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

47 和田空き家再生プロジェクト事業の取組



実施主体	わだ 和田の里づくり推進協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	わだ 周南市和田地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> 人口：1,013人、世帯数：565世帯、高齢化率：57.5%（令和7年3月31日現在） 周南市の北西部に位置し、島地川ダム、高瀬湖、高瀬峡などを有するとともに、高瀬茶や林業の「和田丸太」などが貴重な地域資源として活用されている。 		
取組の背景	<p>【背景】 地域外の人を訪れた際に、地域の多様な製品を提供する場や住民とのふれあいの場、情報を発信する場を創出し、都市住民との関わりを深める交流を進め、交流人口・関係人口の増加を目指す。</p>		
取組内容	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 月1回開催してきたマルシェイベント「和っ彩マルシェ」を持続的に運営するため、地域内の空き家を活用して住民によるDIY等を行い、地域製品の販売や都市住民へ地域の魅力を発信する交流の場、また、地域住民をはじめ多様な人材が気軽に集い交流する場となるよう機能を充実。 持続的な運営に向け、協議会内に新たな部会を組織し、協力体制を整備するなどの体制強化を図った。 		
取組の成果	<p>【成果】 耕作放棄地を活用して作った野菜をはじめとする地域製品の販売により、地域経済の循環を図るとともに、地域の魅力を発信する拠点としての機能を高め、交流事業を実施することで、都市住民の和田地域への理解を促進できた。</p>		
今後の展開	<p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のサロンとして、交流や憩いの場となるよう利用度を高める。 和っ彩加工所「彩香」の開設、運営に向けた検討。 		

- 分野
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



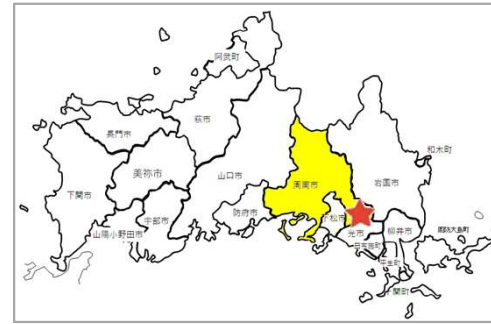
ポイント・工夫した点

和っ彩運営クラブを設置し、運営全般の指揮統括を明確にするとともに、「和っ彩レディース」、「和っ彩マン」、「和っ彩サポーター」の各部局がそれぞれの特性を生かした役割を担い、持続可能な運営体制の構築を図った。

活用事業

令和2年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

48 地域文化記録のデジタルアーカイブ化に向けた取組



実施主体	“ほっと三丘” ^{みつお} コミュニティ協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	周南市 ^{みつお} 三丘地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> 人口：1,367人、世帯数：690世帯、高齢化率：46.7%（令和7年3月31日現在） 周南市南東部に位置し、黒岩峡、三丘温泉（国民保健温泉地）等の観光資源のほか、県指定有形文化財である「徳修館」裏の「三丘ゆめ広場」は、SNS映えスポットとして訪れる人も多い。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域で取り組んできた地域活動や伝統行事等の写真、映像記録等を体系的に整理することで、地域の伝統行事の継承、地域情報の共有を図り、地域の歴史を後世に伝えることで住民の地域への愛着を深める。 地域内のコミュニティカフェで行われている地元農家の規格外野菜の販売において、需給バランスが取りにくい状況で、改善に向けた仕組みの構築が求められている <p>【取組内容】</p> <p>地域活動や地域行事をYouTubeに保存、伝統行事等の情報のデジタルアーカイブ化による集約と実施体制の構築。</p>		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナの影響で活動回数が制限され、規格外野菜の流通促進等の検討は行えなかったが、地域活動や伝統行事等の地域情報については専門家の指導を受け集約することができた。 コロナの流行が下火になった後も活動頻度は十分に回復しておらず、地域情報を集約して発信するための手法の検討や、規格外野菜等の流通促進に向けた運用体制の構築については、依然として課題が残っている。 <p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> 集約化した地域情報の発信方法に関する検討の実施 地域内における規格外野菜等の流通促進に向けた運用体制の確立 		

- 分野
- 生活機能の確保
 - 地域産業の振興
 - 交流福祉活動の促進
 - 生活交通の確保
 - 拠点の整備
 - 地域計画の検討

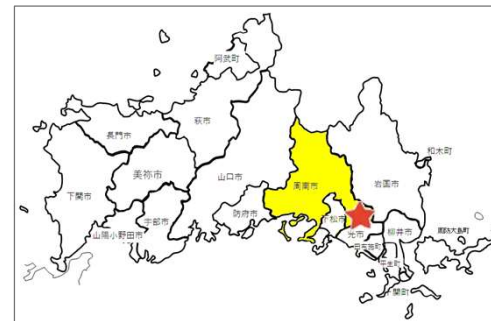


ポイント・工夫した点

専門家と協議を重ね、指導や助言を活かしてデジタルアーカイブ化を進めた。

活用事業
令和3年度
やまぐち元気生活圏づくり協働支援事業（専門家派遣事業）

49 耕作放棄地や空き家の活用に向けた取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業

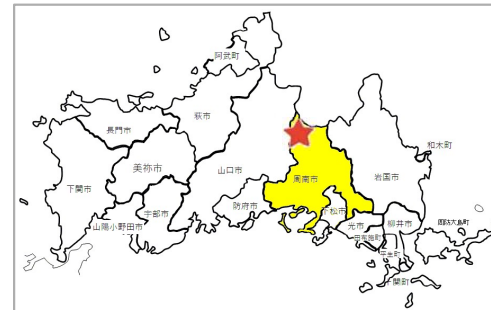
令和3、4、5年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

実施主体	“ほっと三丘” ^{みつお} コミュニティ協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	周南市三丘地域 ^{みつお}	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：1,367人、世帯数：690世帯、高齢化率：46.7%（令和7年3月31日現在） ・周南市南東部に位置し、黒岩峡、三丘温泉（国民保健温泉地）等の観光資源のほか、県指定有形文化財である「徳修館」裏の「三丘ゆめ広場」は、SNS映えスポットとして訪れる人も多い。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業就業者の高齢化や担い手の減少により、耕作放棄地や荒廃農地が増加している。 ・空き家を移住希望者に貸し出すに当たり、空き家情報が一元的に管理されておらず、受入に活用できないことが問題となった。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地を活用したサツマイモ等の試験栽培とその収穫物を活用した6次産業化に向けた調査研究、地域の保育園・幼稚園と連携した芋掘り体験の実施。 ・空き家情報の集約、デジタル化を行い、クラウドで管理する仕組みを構築。 ・協議会で空き家修繕を行う体制とするため、修繕技術の研修会を開催。 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作物の試験栽培により、住民自らの手で耕作放棄地解消・維持管理を行うとともに、子どもたちの農業への関心を早期に育むことで地域農業の将来的な担い手づくりに寄与。 ・サツマイモの加工品を試作し、試食会で高評価を得た。 ・空き家管理へのクラウドサービス導入に当たり、システムの有用性を確認できた。 ・研修会により技術習得だけでなく、若年層参画に向けた体制づくりにつながった。 <p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作物栽培作業の効率化、加工方法の改良や販路の確保を行う。 ・空き家管理システムの確立を目指すとともに、修繕技術の更なる習得を目指す。 		

ポイント・工夫した点

- ・農地の維持管理を行いやすくするため、耕作が容易な作物を中心に試験栽培を行った。
- ・紙媒体の空き家情報のデジタル化に向け、専門家の支援を受けながらシステムを構築。
- ・専門家やDIY経験者の助言を受け、修繕のコツ・ノウハウを実践的に学んだ。

50 農産物加工・販売拠点の継承に向けた取組



実施主体	おおしお 大潮の里をまもる会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	おおしお 周南市大潮地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：180人、世帯数：112世帯、高齢化率：77.2%（令和7年3月31日現在） ・周南市の北部に位置し、県内最長の河川「錦川」の源流など豊かな自然に恵まれ農業が盛んな地域。 ・地区内の旧大潮小学校は平成20年公開「石内尋常高等小学校 花は散れども」のロケ地。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】 地域で採れる農作物を加工・販売する「大潮田舎の店」の後継者不足の地域課題に対し、住民の生きがいの場を将来に渡って残すため、地域住民と地域おこし協力隊員が協力して課題解決に取り組むことを検討。</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大潮田舎の店の知名度向上に向けた取組 ・既存商品の改良 ・大潮田舎の店と関わる機会の創出 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のぼり旗やロゴシールを新調することで、ブランド力を向上させ、若い世代にも特産品商品を手に取ってもらえるようになった。 ・既存商品の見直しにより、作業効率化や商品価値の向上につながった。 ・これまで実施してこなかった地区外への出店や料理教室の開催により、地域の特産品やその存在を広く周知することができ、地域のファン獲得につながった。 <p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を継続し、地域のファンづくりをさらに進め、後継者問題の解決を目指す。 		

- 分野
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討

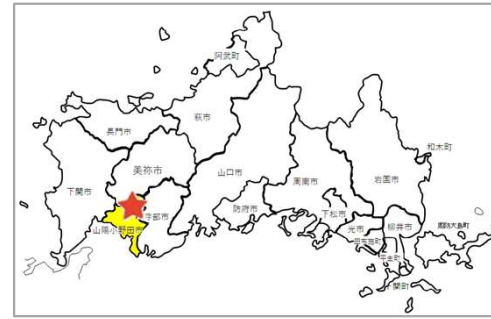


ポイント・工夫した点

地域おこし協力隊員がアイデアを出し、地域住民と一緒に活動することで、高齢者でも取り組みやすく、また時代にフィットした活動内容になった。

活用事業
令和6年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

51 川上地区将来計画（夢プラン）策定の取組

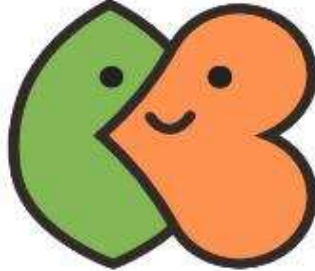


- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業

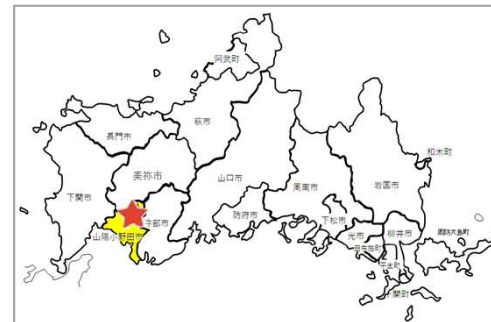
令和2、3年度
やまぐち元気生活圏づくり協働支援事業（専門家派遣事業）

実施主体	かわかみ 川上地区自治連合会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	かわかみ 山陽小野田市川上地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：81人、世帯数：39世帯、高齢化率：58%（令和7年10月31日現在） ・山陽小野田市の最北端で、美祢市との市境に位置する。 ・地域の産業の中心は農業で、米、麦、カボチャ等が栽培されている。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の有志、営農組合、連合自治会が一体となって地域づくりに取り組んでいるが、高齢化による人口減少に歯止めが利かず、担い手不足が深刻化。 ・何も対策を講じなければ、集落機能の維持が困難な状況となることが懸念されている。 ・住民が主体となって地域の課題を地域で解決していくためには、「住民主体の地域づくり」が重要であり、その実現のために、地域住民自らが話し合い等を通じて、自主的、主体的に地域の将来像や具体的な目標、行動計画を立てる必要性を認識。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家の講義等により、地域の将来計画「夢プラン」の作成に向けた知識や課題等を共有。 ・地域の総意になる「夢プラン」とするため、住民全体（12歳以上）を対象にしたアンケートの実施。 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民アンケート結果を反映した夢プランを策定。 ・地域内での地域活動参加者が増加。 ・世代交代の必要性を認識する機会となった。 <p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・策定した夢プランの精査 ・実施計画型の夢プランの策定（現段階では基本構想型） <div style="text-align: right;">  <p>川上ブランドのロゴマーク</p> </div>		

ポイント・工夫した点

- ・協議内容やアンケート結果を地域内で供覧することで活動の周知を図った。
- ・「夢プラン」策定に当たり、現在のリーダーの世代だけでなく、一つ若い世代の住民を実行部隊として位置付けた。

52 地域課題をICT活用によって解決する取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業

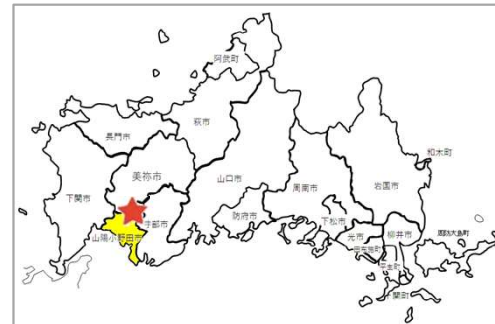
令和3、4、5年度
やまぐち元気生活圏づくり協働支援事業（元気生活圏元気創出応援事業）

実施主体	かわかみ 川上地域ICT活用検討協議会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	かわかみ 山陽小野田市川上地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：81人、世帯数：39世帯、高齢化率：58%（令和7年10月31日現在） ・山陽小野田市の最北端で、美祢市との市境に位置する。 ・地域の産業の中心は農業で、米、麦、カボチャ等が栽培されている。 		
取組の背景	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会のデジタル化が進む中、高齢者が多い川上地域ではデジタル化の流れに対応できないことが危惧された。 ・「ゆめ市場川上」と「ゆめ農房川上」を地域づくりの軸に捉え、集落機能の向上を図るため、ICTを活用した地域の課題解決に取り組む必要性を認識。 		
取組内容	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陽小野田市立山口東京理科大学の学生と連携し、地域課題を抽出し、ICTを活用した課題解決の手法を検討。 ・学生による地域の視察、住民等への調査などフィールドワークを実施。 ・学生からeスポーツによる健康維持と交流促進、SNSによる直売施設等の情報発信の実施を提案、大学生と地域住民が連携して実施。 		
取組の成果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生がフィールドワークで訪れるなど地域の関係人口拡大の契機となった。 ・地域の状況を調査した結果に基づき、大学から地域のニーズに沿ったICT活用が提案された。 ・地域おこし協力隊員・大学生が協同し、川上地区のInstagramを開設。 ・他地域とeスポーツのオンライン対戦を実施し、地域間交流を深めた。 ・夏祭りでは、自治会対抗でeスポーツを行い、地域の活性化を進めることができた。 		
今後の展開	<p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・eスポーツやSNSの活用を地域で定着させる。 		

ポイント・工夫した点

- ・地域が主体的に継続して取り組むことができるよう引継ぎの期間を設けた。
- ・高齢者に馴染みにくいICT分野を孫世代の大学生とともに取り組むことで苦手意識を払拭しつつ、世代間交流による地域活性化を図った。

53 地域内での6次産業化促進の取組



実施主体	かわかみ 川上地区自治連合会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	かわかみ 山陽小野田市川上地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> 人口：81人、世帯数：39世帯、高齢化率：58%（令和7年10月31日現在） 山陽小野田市の最北端で、美祢市との市境に位置する。 地域の産業の中心は農業で、米、麦、カボチャ等が栽培されている。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢化の進展に伴い、地域の中心産業である農業の衰退が危惧されている。 コロナ禍で地域内のイベント開催が制限され、地域間のコミュニケーションが減少。 農産加工所の整備に伴い運営事業体を発足、年間を通じた地域の農産物の利活用の可能性が広がった。 農産加工所の活動により、特に高齢者や女性の活動の活性化が図られ、住民主体の地域づくり推進に向けた気運が出てきた。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の農産物を原材料とする加工品の開発、加工場の年間供給体制の構築。 試作品の商品化に向け、地域住民や直売施設のイベント来訪者を対象に試食、意見収集。 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6次産業化（生産：川上地区営農組合、加工：ゆめ農房川上、販売：ゆめ市場川上）の基礎の確立、加工所を起点とした交流の促進。 地域おこし協力隊員と協同し、固くならない「貞任餅」の販売開始。 川上地域ローカルキャラ「貞任くん」完成。 電動餅切り機の導入により、生産・加工工程の効率化が進んだ。 <p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の商品のブランディング・川上ブランドの定着を図る。 販路拡大に向け、地域外との連携体制の構築、連携の促進。 		

- 分野
- 生活機能の確保
 - 地域産業の振興
 - 交流福祉活動の促進
 - 生活交通の確保
 - 拠点の整備
 - 地域計画の検討



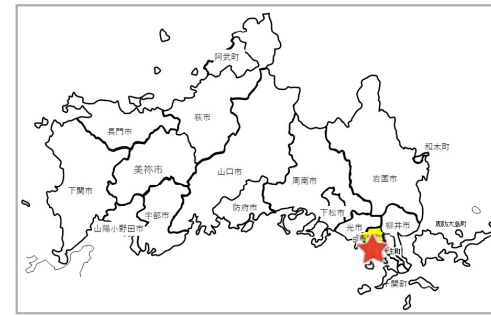
ポイント・工夫した点

- 地域が継続的に取り組むことができるように段階を踏みながら、定期販売を行った。
- 定期的な出荷場所だけでなく、外部のイベント等に出展することで、評価や課題を抽出。
- 「貞任餅」を様々な世代に発信するために、SNSを積極的に活用したことで、貞任餅や川上地域の認知度がさらに高まった。

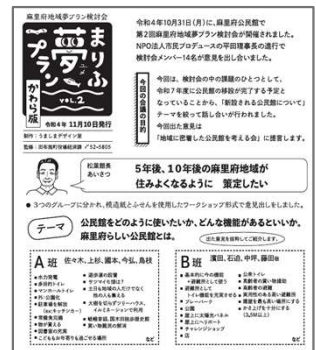
活用事業

令和2、3、4、5、6年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

54 夢プランの策定及び実行に向けた取組



実施主体	まりふ 麻里府地域夢プラン検討会・実行委員会	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	まりふ 田布施町麻里府地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> 人口：581人、世帯数：335世帯、高齢化率59%（令和7年4月1日現在） 田布施町南部の海沿いに位置し、離島である馬島も含めて地域活動に取り組んでいる。 水産業が盛んで、毎週土曜に海産物や加工品の直売市が行われている。 		
取組の背景 ・ 取組内容	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進む中、麻里府公民館の建て替えを契機として地域の5年後、10年後を見据えた将来像について考え、「夢プラン」として策定することとした。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門家の助言を受けながら、多様な意見を引き出すためのワークショップを開催。 夢プランの進捗状況を地域内で共有するかわら版を発行。 		
取組の成果 ・ 今後の展開	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の将来を考えることで、今まで取り組んできたことの振り返りや、これからの取り組み等を踏まえ、3つの願い（目標）として集約できた。 若者世代が夢プラン検討会に参画することで、今後の地域づくり活動の担い手として大きな可能性がひらかれた。 <div style="background-color: #e0f0ff; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>願い（目標）1：地域の人はずっとつながる麻里府でありたい 願い（目標）2：住みよい麻里府であり続けたい 願い（目標）3：自然を生かす（活かす）麻里府でありたい</p> </div> <p>【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3つの願い（目標）の実現に向けて、実行委員会を立ち上げて取り組んでいく。 		



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



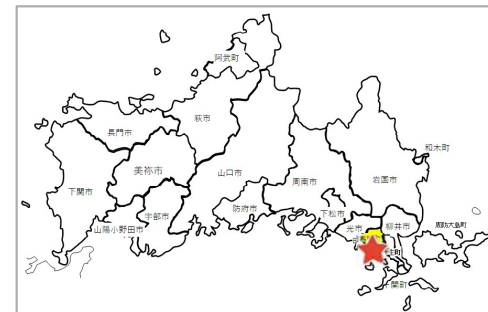
活用事業

令和6年度
やまぐち元気生活圏づくり協働支援事業（専門家派遣）

ポイント・工夫した点

若者や子育て世帯等、これから地域を担う人の意見を聞くため、検討会や実行委員会のメンバーとして参画を促進するとともに、若い世代に特化したワークショップを行った。

55 イベントの開催による地域活性化の取組



- 分野**
- ① 生活機能の確保
 - ② 地域産業の振興
 - ③ 交流福祉活動の促進
 - ④ 生活交通の確保
 - ⑤ 拠点の整備
 - ⑥ 地域計画の検討



活用事業

令和6年度
やまぐち元気生活圏活力
創出事業

実施主体	まりふ うみねこ団	元気生活圏づくり推進方針	有・無
取組地域	まりふ 田布施町麻里府地域	地域の夢プラン	有・無
地域の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：581人、世帯数：335世帯、高齢化率59%(令和7年4月1日現在) ・田布施町南部の海沿いに位置し、離島である馬島も含めて地域活動に取り組んでいる。 ・水産業が盛んで、毎週土曜に海産物や加工品の直売市が行われている。 		
取組の背景	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・馬島を含む麻里府地域への来訪者を増加させるため、若者が中心となって地域の認知度向上につながるイベントを検討。 ・地域の魅力を町外に広くPRし、地域外との交流促進を通じた賑わいあるまちづくりが求められている。 		
取組内容	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者を中心に企画・運営する手づくりイベント「marifu seasideマルシェ」を開催。 ・鮮魚や加工品を扱う魚市の開催や、子ども向けのタッチングプール（魚に触れられるプール）を設置するなど、地域資源である魚等をPRする取組を実施。 		
取組の成果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町外からの訪問者が麻里府を知り、認知度の向上につながった。 ・地域住民と他地域の方が新たな関係性を構築し、文化や趣味などの共有により交流人口の拡大を図った。 		
今後の展開	<p>【今後の展開】</p> <p>若者メインで運営チームを編成し、若者が挑戦できる場にする事で町を活気づけるとともに、地域産業のさらなる振興につなげる。</p>		

ポイント・工夫した点

初めての試みのため、事前に地域をまわりイベントに対する協力を得るとともに、夢プラン実行委員会にも加わってもらい、当日の運営を一緒に行った。